

# 基本計画書

基本計画書									
事項	記入欄								備考
計画の区分	短期大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガッコウホウジンチバケイザイガクエン 学校法人千葉経済学園								
フリガナ大学の名称	チバケイザイダイガクタンキダイガクブ 千葉経済大学短期大学部								
大学本部の位置	千葉県千葉市稲毛区轟町3丁目5番5号								
大学の目的	「片手に論語 片手に算盤」という建学の精神並びに「良識と創意」という校是を踏まえ、深く専門の学芸を教授研究し、職業または実際生活に必要な能力を育成し、もって社会の発展文化の向上に寄与することを使命とする。								
新設学部等の目的	受験者数並びに入学者数の推移及び今後の状況から適正定員を勘案し、安定した学生確保を図ることを目的とする。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	ビジネスライフ学科	2年	115人 (140)		230人 (280)	短期大学士 (ビジネスライフ)	経済学関係	令和8年4月 第1年次	千葉県千葉市稲毛区轟町3丁目5番5号
	こども学科	2年	115人 (170)		230人 (340)	短期大学士 (こども)	教育学・保育学関係	令和8年4月 第1年次	同上
	計								
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	該当なし								
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
		科目	科目	科目	科目	単位			
学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)		
	教授	准教授	講師	助教	計				
新	ビジネスライフ学科	8人 (8)	1人 (1)	人 ( )	人 ( )	9人 (9)	人 ( )	29人 (29)	
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	8人 (8)	1人 (1)	人 ( )	人 ( )	9人 (9)	/		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	( )	( )	( )	( )	( )			
	小計（a～b）	8人 (8)	1人 (1)	人 ( )	人 ( )	9人 (9)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	( )	( )	( )	( )	( )			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	( )	( )	( )	( )	( )			
計（a～d）	8人 (8)	1人 (1)	人 ( )	人 ( )	9人 (9)				

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数 6人

設	こども学科	8	6			14		35	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 8人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	(8)	(6)	( )	( )	(14)	/	(35)	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	( )	( )	( )	( )	( )			
	小計（a～b）	8	6			14			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	( )	( )	( )	( )	( )			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	( )	( )	( )	( )	( )			
	計（a～d）	( )	( )	( )	( )	( )			
分	計	16	7			23			
		(16)	(7)	( )	( )	(23)	( )	(-)	
既		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 〇〇人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	( )	( )	( )	( )	( )	/	( )	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	( )	( )	( )	( )	( )			
	小計（a～b）	( )	( )	( )	( )	( )			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	( )	( )	( )	( )	( )			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	( )	( )	( )	( )	( )			
	計（a～d）	( )	( )	( )	( )	( )			
分	計	( )	( )	( )	( )	( )			( )
設		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 〇〇人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	( )	( )	( )	( )	( )	/	( )	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	( )	( )	( )	( )	( )			
	小計（a～b）	( )	( )	( )	( )	( )			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	( )	( )	( )	( )	( )			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	( )	( )	( )	( )	( )			
	計（a～d）	( )	( )	( )	( )	( )			
分	計	( )	( )	( )	( )	( )			( )
	合計	16	7			23		-	
		(16)	(7)	( )	( )	(23)	( )	(-)	

職 種		専 属		その他		計			
事 務 職 員		11人 (11)		人 ( )		11人 (11)			
技 術 職 員		( )		( )		( )			
図 書 館 職 員		2 (2)		( )		2 (2)			
そ の 他 の 職 員		( )		( )		( )			
指 導 補 助 者		( )		( )		( )			
計		13 (13)		( )		13 (13)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計			
	校 舎 敷 地	11,782.91㎡	㎡	㎡		11,782.91㎡			
	そ の 他	1,726.80㎡	㎡	㎡		1,726.80㎡			
	合 計	13,509.71㎡	㎡	㎡		13,509.71㎡			
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計			
		9,479.49㎡ ( 9,479.49㎡)	3,633.21㎡ ( 3,633.21㎡)	10,741.15㎡ ( 10,741.15㎡)		23,853.85㎡ ( 23,853.85㎡)			
教 室 ・ 教 員 研 究 室		教 室	室	教 員 研 究 室		室			
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕		学術雑誌 〔うち外国書〕		機械・器具	標本		
		冊	電子図書 〔うち外国書〕	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	点	点		
	〔 〕		〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕		
	( 〔 〕 )		( 〔 〕 )	( 〔 〕 )	( 〔 〕 )	( 〔 〕 )	( 〔 〕 )		
計		〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕	〔 〕		
		( 〔 〕 )	( 〔 〕 )	( 〔 〕 )	( 〔 〕 )	( 〔 〕 )	( 〔 〕 )		
スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設			
		㎡		㎡		㎡			
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	教員1人当り研究費等		400千円	400千円					
	共同研究費等		1,000千円	1,000千円					
	図書購入費		5,200千円	5,200千円					
	設備購入費								
	学生1人当り 納付金		第1年次 1,236千円	第2年次 936千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入 等							
大 学 等 の 名 称		千葉経済大学							
既 設 大 学 等 の 状 況	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	開設 年度	所 在 地
	経済学部	年	人	年次 人	人		1.19 倍		千葉県千葉市稲毛区 轟町3丁目59番5号
	経済学科	4	250		1000	学士(経済学)		昭和63年	1年次は学 科ではなく 学部にも属
	経営学科	4				学士(経営学)		平成10年	

既設大学等の状況	大学等の名称	千葉経済大学大学院							所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度		
	経済学研究科	年	人	年次人	人		倍			千葉県千葉市稲毛区轟町3丁目59番5号
		2	10		20		0.35			
既設大学等の状況	大学等の名称	千葉経済大学短期大学部							所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度		
	ビジネスライフ学科	年	人	年次人	人	短期大学士(ビジネスライフ)	0.93	平成16年		千葉県千葉市稲毛区轟町3丁目59番5号
	こども学科	2	140		280	短期大学士(こども)	0.61	平成16年		
		2	170		340					
附属施設の概要	該当なし									

(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」, 「新設学部等の目的」, 「新設学部等の概要」, 「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず, 斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については, 専門職大学にあつては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあつては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあつては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については, 共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は, 「教育課程」, 「教室・教員研究室」, 「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず, 斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は, 「教育課程」, 「校地等」, 「校舎」, 「教室・教員研究室」, 「図書・設備」, 「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず, 斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には, 実技も含むこと。
- 7 空欄には, 「-」又は「該当なし」と記入すること。

## 学校法人千葉経済学園 定員減に関わる組織の移行表

令和7年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和8年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
千葉経済大学				千葉経済大学				
経済学部		2年次		経済学部		2年次		
		3年次				3年次		
経済学科	150	若干名	600	経済学科	150	若干名	600	
		2年次				2年次		
		3年次				3年次		
経営学科	100	若干名	400	経営学科	100	若干名	400	
計	250	若干名	1,000	計	250	若干名	1,000	
千葉経済大学大学院				千葉経済大学大学院				
経済学研究科	10		20	経済学研究科	10		20	
計	10		20	計	10		20	
千葉経済大学短期大学部				千葉経済大学短期大学部				
ビジネスライフ学科	140		280	ビジネスライフ学科	<u>115</u>		<u>230</u>	定員変更(△25)
こども学科	170		340	こども学科	<u>115</u>		<u>230</u>	定員変更(△55)
計	310		620	計	<u>230</u>		<u>460</u>	

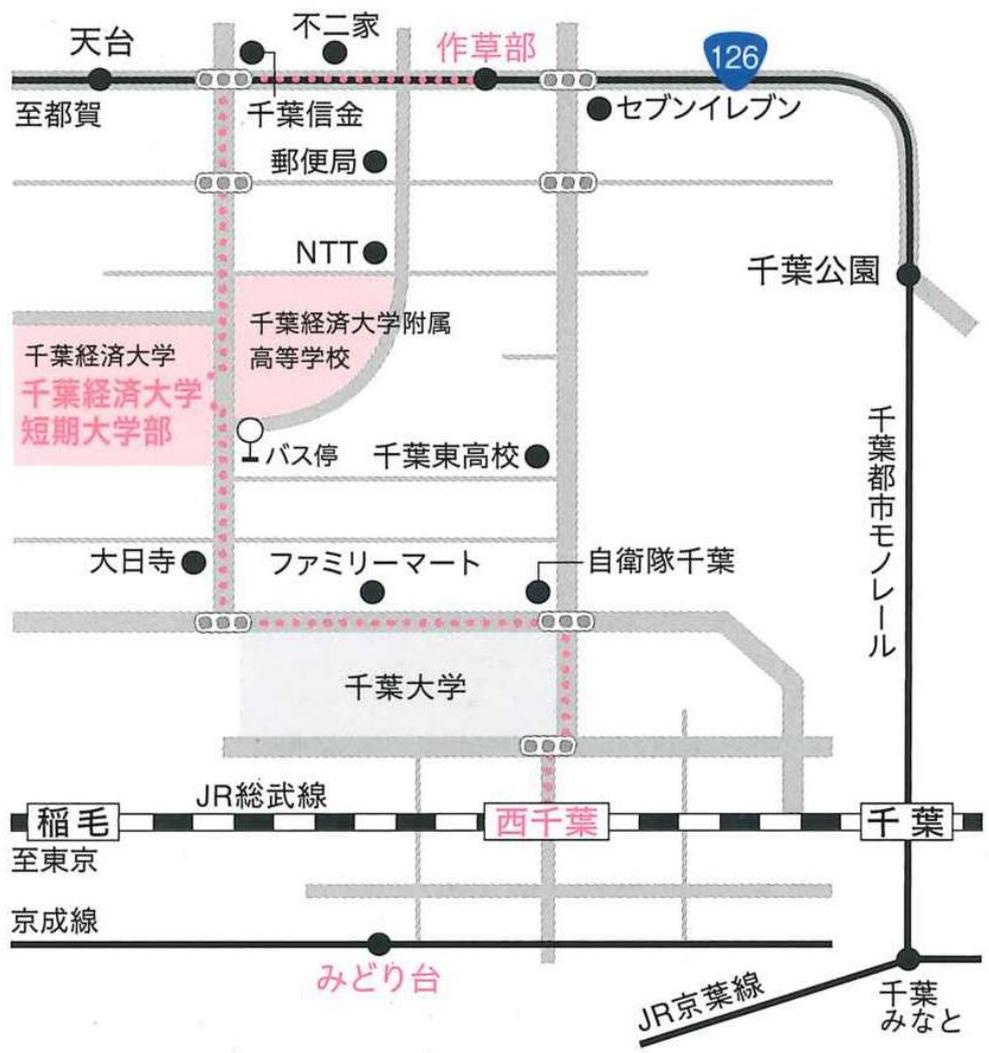
## 2 校地校舎図面

### (1) 都道府県内における位置関係に関する図面

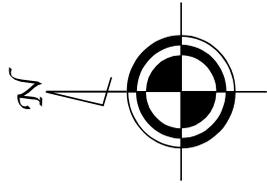


(2) 最寄り駅からの距離や交通機関がわかる図面

- 電車/JR「西千葉」駅下車徒歩13分
- 千葉都市モノレール/「作草部」駅下車徒歩5分
- ちばシティバス/JR「西千葉」駅より轟町循環線「千葉経済大学」下車徒歩1分



学校法人 千葉経済学園  
(3)校地の位置図

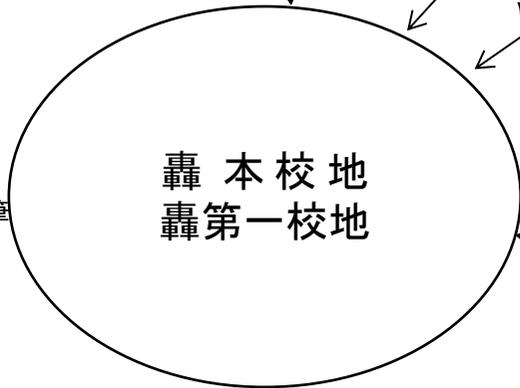


轟第二校地  
15,467.62㎡  
千葉経済大学附属高等学校  
千葉市稲毛区5丁目68番1他2筆



徒歩3分

轟本校地・轟第一校地  
64,010.31㎡  
千葉経済大学  
千葉経済大学短期大学部  
千葉経済大学附属高等学校  
千葉市稲毛区4丁目8番1他3筆



至東京

至上野

西千葉

JR総武線

千葉

みどり台

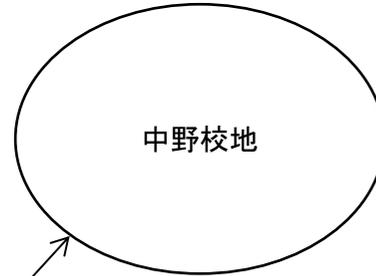
京成電鉄

京成千葉

至館山

至銚子

都賀



中野校地(運動場)  
31,556.00㎡  
千葉経済大学附属高等学校  
千葉市若葉区中野町2,669番2他8筆  
(全部所有)



小間子校地(運動場)  
13,496.00㎡  
千葉経済大学  
千葉市若葉区小間子町1番64他4筆

総武本線

バス 35分 18km

バス 30分 15km

バス 46分 28km



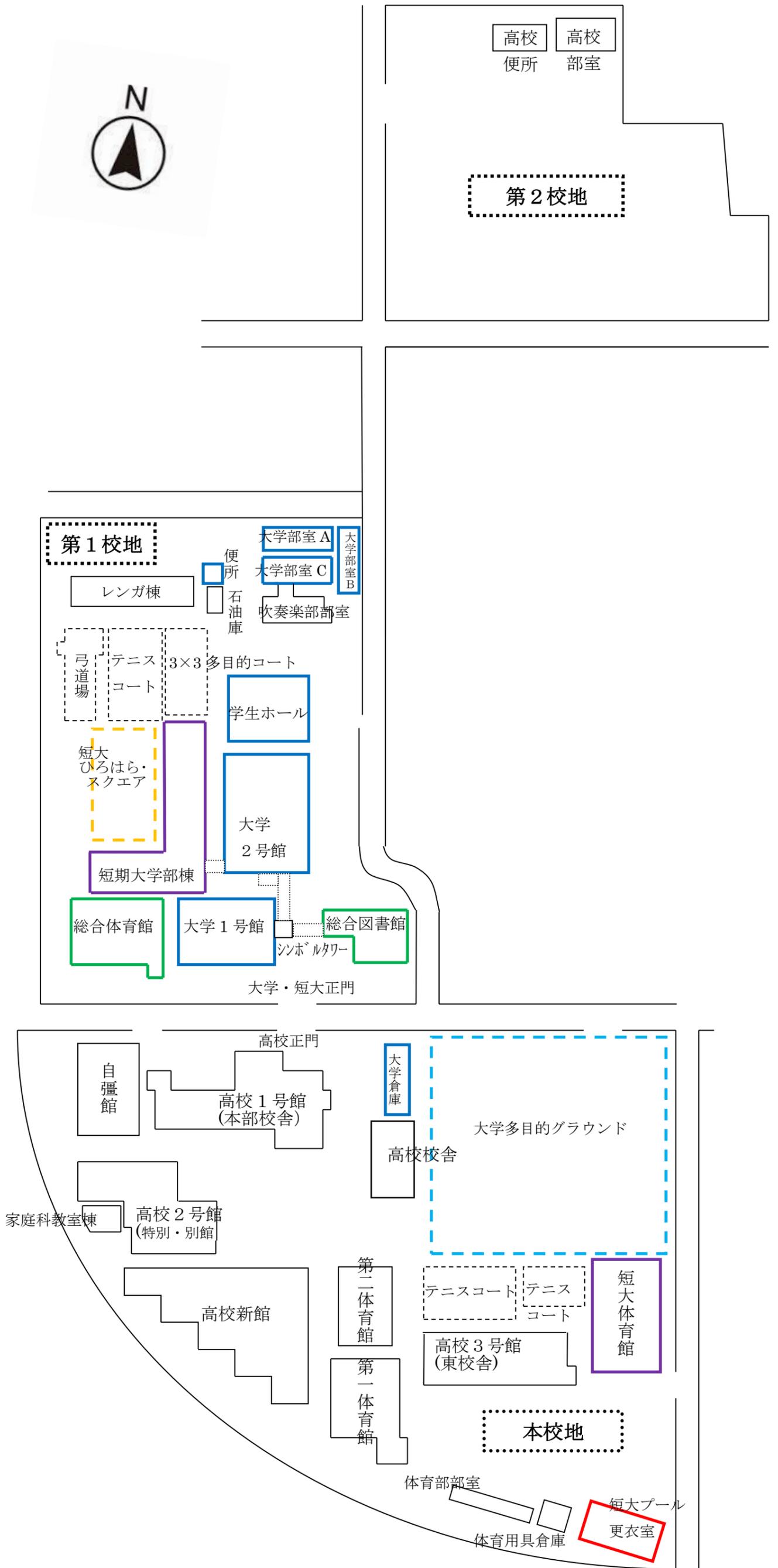
あすみが丘校地  
1,437.37㎡  
千葉経済大学附属高等学校  
千葉市緑区あすみが丘2-41-4,5  
千葉市緑区あすみが丘東2-23-2  
(全部所有)

(4) 校舎配置図

(本校地・第1校地・第2校地)



<b>■短大専用</b> (ビジネスライフ学科・こども学科)
短期大学部棟 7,840.39 m <sup>2</sup>
短期大学部体育館 1,564.00 m <sup>2</sup>
<b>■短大専用 (未使用校舎)</b>
短大プール更衣室 75.10 m <sup>2</sup>
<b>■大学・短大共用</b>
総合図書館 2,268.90 m <sup>2</sup>
総合体育館 1,364.31 m <sup>2</sup>
<b>■大学専用</b>
大学1号館 5,700.37 m <sup>2</sup>
大学2号館 2,386.16 m <sup>2</sup>
学生ホール 1,183.39 m <sup>2</sup>
大学部室 A 248.42 m <sup>2</sup>
大学部室 B 656.79 m <sup>2</sup>
大学部室 C 248.42 m <sup>2</sup>
<b>■短大運動場</b>
ひろはら・スクエア 1,726.80 m <sup>2</sup>
<b>■大学運動場</b>
多目的グラウンド 4,063.71 m <sup>2</sup>

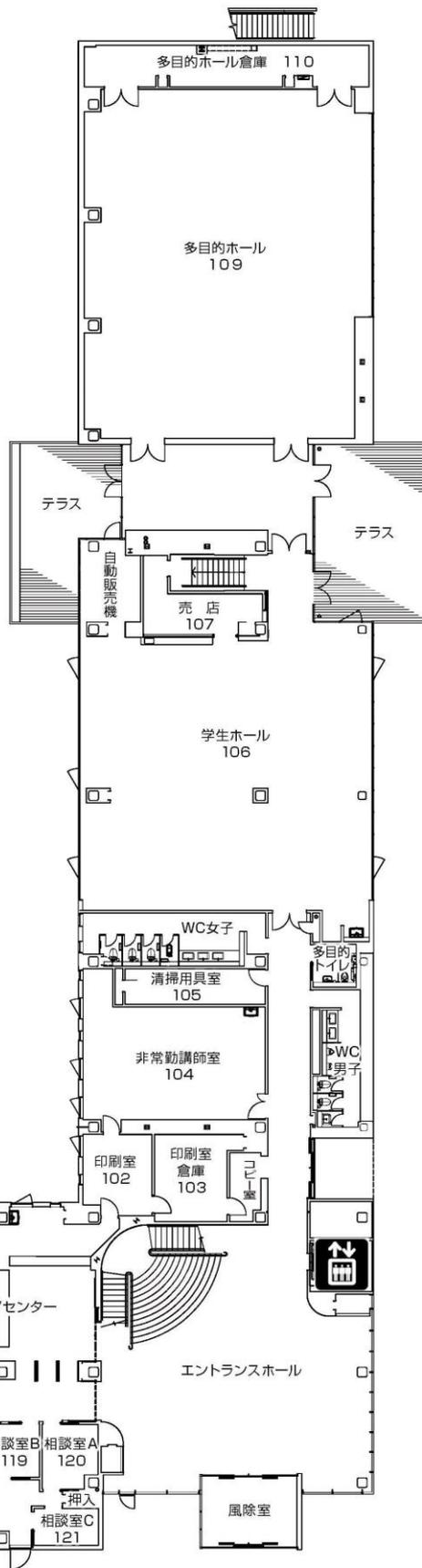


## 2 校地校舎等の図面

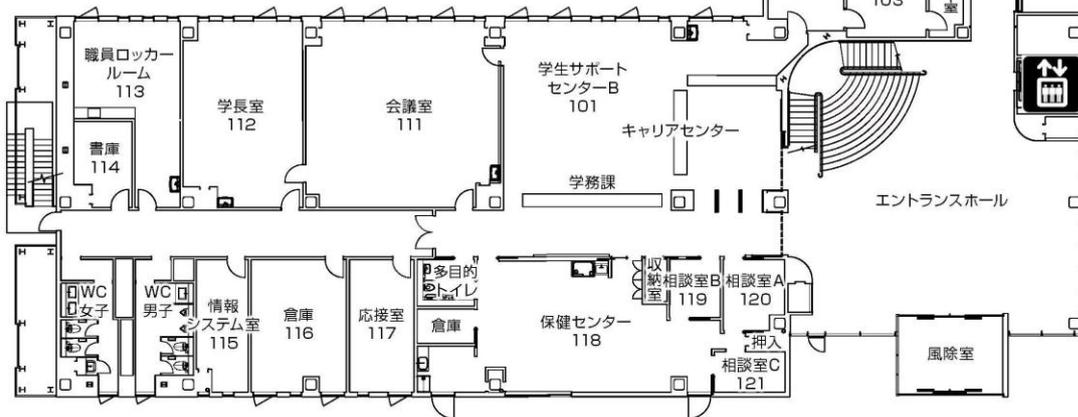
### (5) 校舎の平面図

#### ■短期大学部棟 1階平面図

名称	番号	室数	面積 m <sup>2</sup>
<b>1階</b>			
ホワイエ			—
多目的ホール	109	1	307.81
多目的ホール倉庫	110	1	39.66
学生ホール	106	1	290.24
売店	107	1	19.37
売店用倉庫	108	1	5.85
非常勤講師室	104	1	73.45
清掃用具室	105	1	16.90
印刷室	102	1	17.51
印刷室倉庫	103	1	20.46
エントランスホール			—
学生サポートセンターB	101	1	132.54
会議室	111	1	93.12
学長室	112	1	56.94
職員ロッカールーム	113	1	37.44
倉庫	116	1	32.69
書庫	114	1	12.13
応接室	117	1	22.47
保健センター	118	1	88.02
相談室 A	120	1	11.54
相談室 B	119	1	7.91
相談室 C	121	1	9.36
情報システム室	115	1	17.27
保健センタートイレ		1	7.21
多目的トイレ		1	6.08
WC女(東)		1	30.45
WC男(東)		1	22.97
WC女(西)		1	20.18
WC男(西)		1	20.33
廊下等		1	432.22
小計			1852.12



※すべて短大ビジネスライフ学科・こども学科と共用



■短期大学部棟 2階平面図

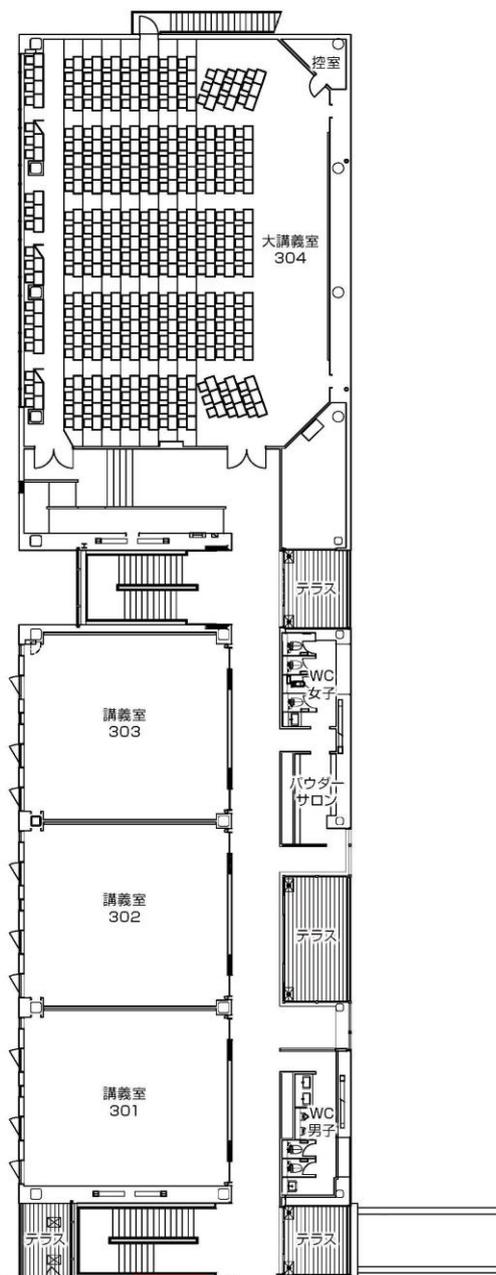
名称	番号	室数	面積 m <sup>2</sup>
<b>2階</b>			
ホワイエ			—
講義室	201	1	87.22
講義室	202	1	90.18
講義室	203	1	94.38
大講義室	204	1	250.79
学園史料室	206	1	18.48
大短同窓会・父母の会 ・後援会室	205	1	36.35
造形実習室	212	1	121.01
造形準備室	211	1	30.90
調理実習室	213	1	171.81
演習室	207	1	42.40
演習室	208	1	44.24
演習室	209	1	36.81
演習室	210	1	40.70
多目的トイレ		1	5.99
パウダーサロン		1	14.64
WC女(東)		1	16.12
WC男(東)		1	21.93
WC女(西)		1	20.18
WC男(西)		1	20.33
廊下等		1	548.83
小計			1713.29

色は、短大こども学科専用  
 その他は短大ビジネスライフ学科・こども学科と共用

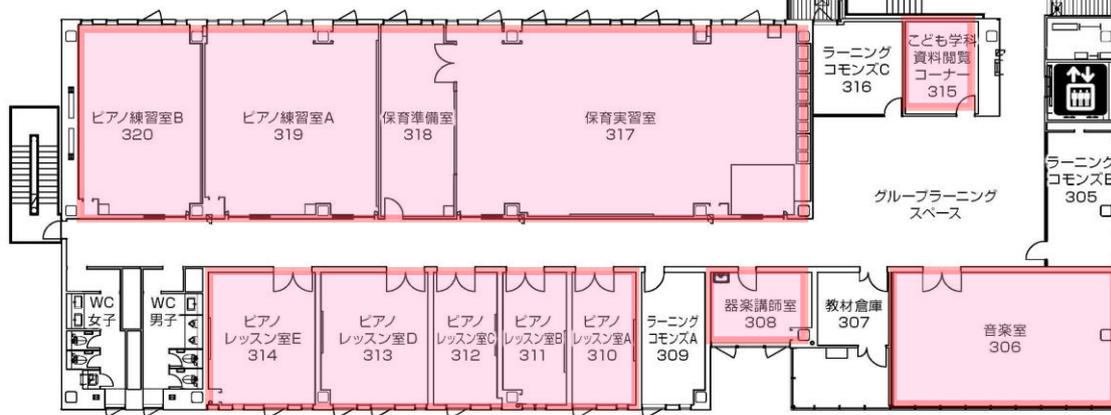


■短期大学部棟 3階平面図

名 称	番号	室数	面積 m <sup>2</sup>
<b>3階</b>			
ホワイエ			—
講義室	301	1	86.77
講義室	302	1	89.76
講義室	303	1	93.95
大講義室	304	1	329.75
控室	304	1	8.30
器楽講師室	308	1	19.60
教材倉庫	307	1	13.46
グループラーニングスペース		1	—
ラーニングコモズA	309	1	23.29
ラーニングコモズB	305	1	24.13
ラーニングコモズC	316	1	20.10
こども学科資料閲覧コーナー	315	1	16.45
音楽室	306	1	74.04
ピアノレッスン室A	310	1	22.47
ピアノレッスン室B	311	1	22.61
ピアノレッスン室C	312	1	22.34
ピアノレッスン室D	313	1	36.78
ピアノレッスン室E	314	1	36.64
ピアノ練習室A	319	1	79.37
ピアノ練習室B	320	1	63.04
保育実習室	317	1	161.13
保育準備室	318	1	34.18
パウダーサロン		1	14.64
WC女(東)		1	16.12
WC男(東)		1	21.12
WC女(西)		1	20.18
WC男(西)		1	20.33
廊下等		1	444.56
小計			1815.11

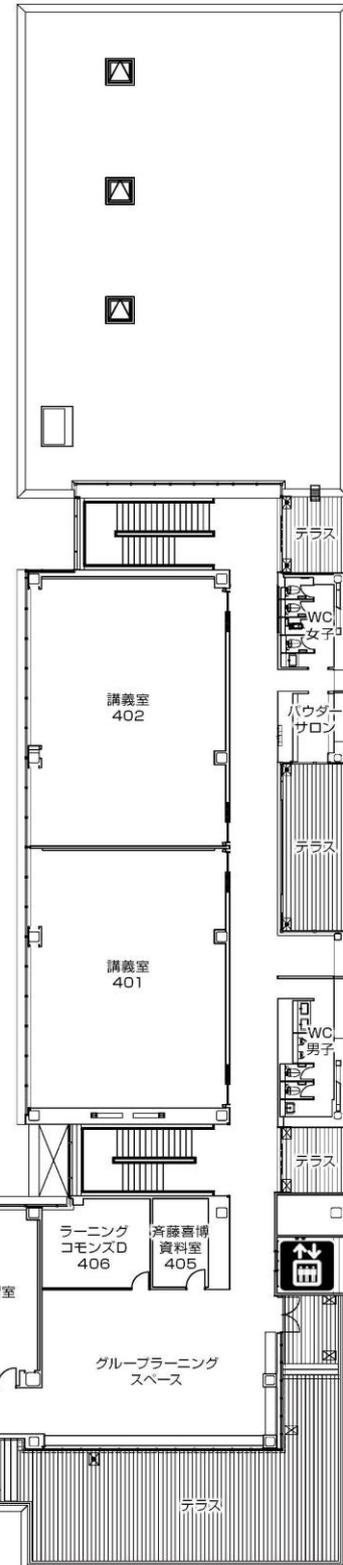


色は、短大こども学科専用  
 その他は短大ビジネスライフ学科・こども学科と共用

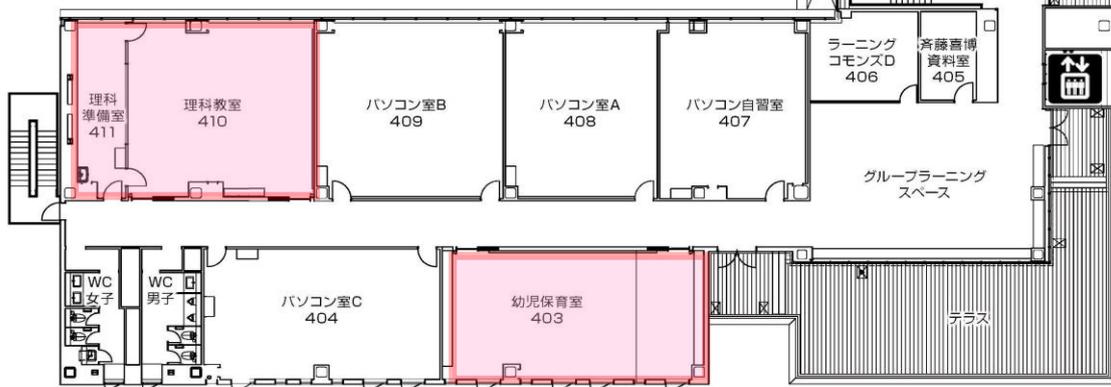


■短期大学部棟 4階平面図

名 称	番号	室数	面積 m <sup>2</sup>
4階			
グループラーニングスペース		1	—
ラーニングcommonsD	406	1	23.47
講義室	401	1	127.30
講義室	402	1	134.24
パソコン自習室	407	1	65.20
パソコン室A	408	1	66.84
パソコン室B	409	1	81.84
パソコン室C	404	1	77.53
理科教室	410	1	81.84
理科準備室	411	1	28.37
幼児保育室	403	1	86.66
斉藤喜博資料室	405	1	12.66
パウダーサロン		1	11.68
WC女(東)		1	16.12
WC男(東)		1	21.12
WC女(西)		1	20.18
WC男(西)		1	20.33
廊下等		1	389.33
小計			1264.71

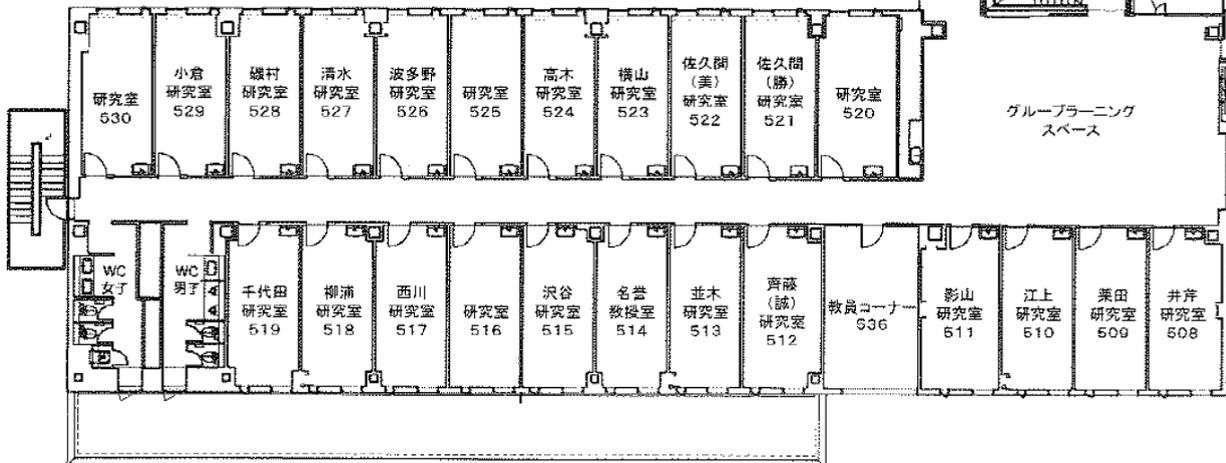
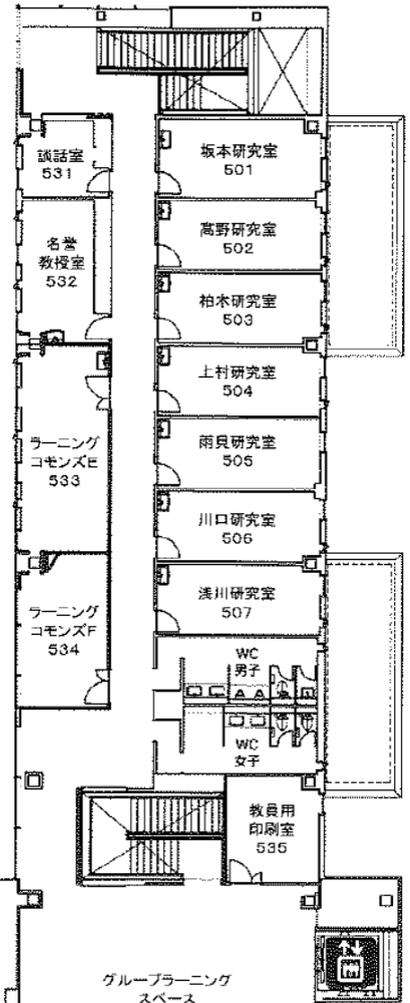


色は、こども学科専用  
 その他は短大ビジネスライフ学科・こども学科と共用



■短期大学部棟 5階平面図 ※すべて他学科と共用

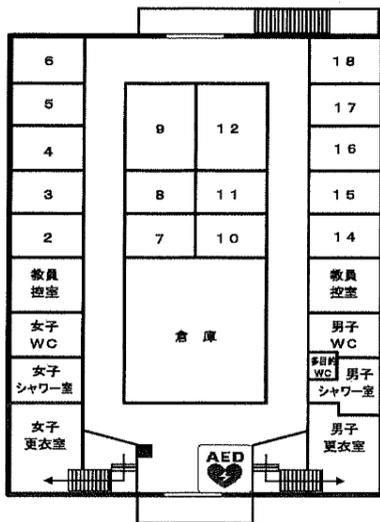
名称	番号	室数	面積 m <sup>2</sup>
<b>5階</b>			
研究室	501	1	22.52
研究室	502	1	20.47
研究室	503	1	20.47
研究室	504	1	20.47
研究室	505	1	20.47
研究室	506	1	20.47
研究室	507	1	20.68
研究室	508	1	22.34
研究室	509	1	20.82
研究室	510	1	20.82
研究室	511	1	22.90
研究室	512	1	22.79
研究室	513	1	20.82
名誉教授室	514	1	20.82
研究室	515	1	20.82
研究室	516	1	20.82
研究室	517	1	20.82
研究室	518	1	20.82
研究室	519	1	20.82
研究室	520	1	22.75
研究室	521	1	20.68
研究室	522	1	20.68
研究室	523	1	20.68
研究室	524	1	20.68
研究室	525	1	20.68
研究室	526	1	20.68
研究室	527	1	20.68
研究室	528	1	20.68
研究室	529	1	20.68
研究室	530	1	23.58
グループラーニングスペース		1	—
ラーニングcommonsE	533	1	32.49
ラーニングcommonsF	534	1	25.73
教員コーナー	536	1	27.28
名誉教授室	532	1	22.77
教員用印刷室	535	1	17.09
談話室	531	1	11.47
WC女(東)		1	19.15
WC男(東)		1	19.15
WC女(西)		1	20.79
WC男(西)		1	18.32
廊下等		1	347.51
小計			1195.16



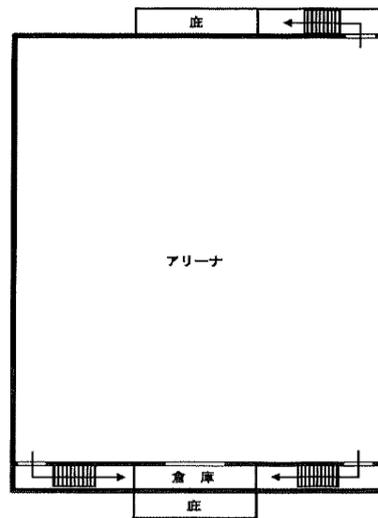
■短期大学部体育館 平面図 ※すべて短大ビジネスライフ学科・こども学科と共用

名 称	室数	面 積 m <sup>2</sup>	名 称	室数	面 積 m <sup>2</sup>
<b>1 階</b>			<b>2 階</b>		
1 階-倉庫	1	91.80	競技場	1	736.00
部室	16	244.80	倉庫	1	13.88
部室	2	61.20	小計		749.88
教員控室	2	61.20			
女子更衣室	1	30.6			
女子シャワー室	1	15.3			
男子更衣室	1	27.2			
男子シャワー室	1	13.5			
便所、廊下等		268.52			
小計		814.12			

1 階平面図



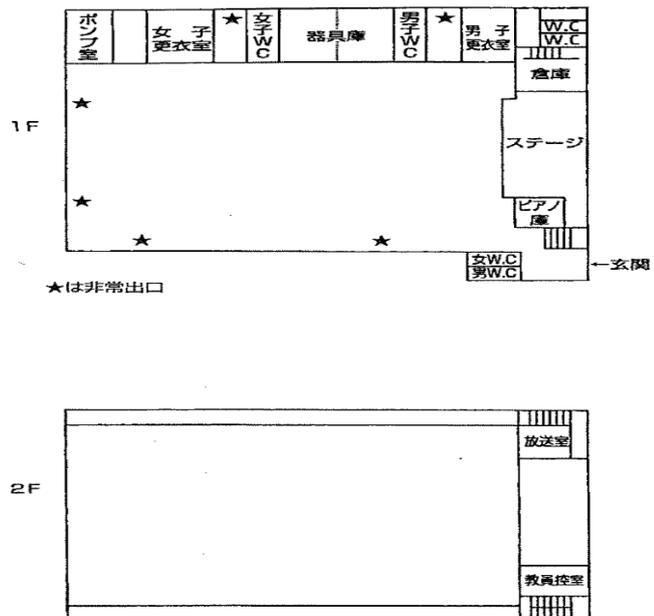
2 階平面図



■総合体育館 平面図（大短共用）※すべて他学科と共用

名 称	室数	面 積 m <sup>2</sup>
<b>体育館 1 階</b>		
男子更衣室	1	34.39
女子更衣室	1	39.05
器具庫	1	47.92
倉庫	1	23.26
ピアノ庫	1	10.37
ステージ	1	93.15
競技場	1	894.40
便所、廊下等		93.73
小計		1,236.27
<b>体育館 2 階</b>		
放送室	1	17.19
教員控室	1	15.25
廊下等		95.60
小計		128.04

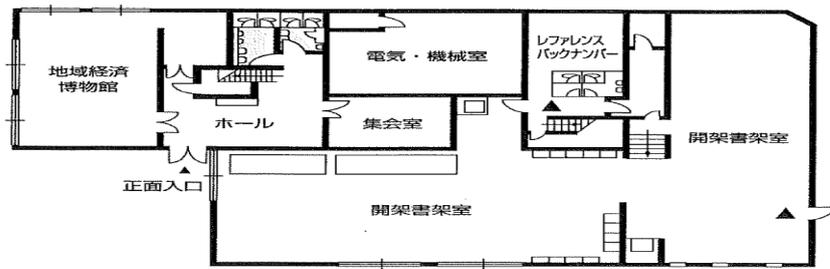
■ 総合体育館



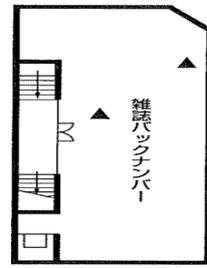
■総合図書館 平面図 ※すべて他学科と共用

名 称	室数	面 積 m <sup>2</sup>	名 称	室数	面 積 m <sup>2</sup>
<b>図書館 1 階</b>			<b>図書館中 2 階</b>		
地域経済博物館	1	96.97	雑誌バックナンバー室	1	244.28
集会室	1	37.25	小計		244.28
予備室	1	34.85	<b>図書館 3 階</b>		
倉庫	1	22.59	キャリア別コース学修支援室	1	110.79
電気機械室	1	88.00	廊下等		5.21
開架書架室	1	439.11	小計		116.00
レファレンスバックナンバー	1	48.80	<b>合計</b>		<b>2,268.90</b>
便所・廊下等		197.77			
小計	1	965.34			
<b>図書館 2 階</b>					
事務室	1	103.60			
館長・副館長室	1	24.13			
絵本児童書閲覧室	1	26.60			
開架書架室	1	235.08			
閲覧室	1	247.50			
教員閲覧室	1	80.60			
逐次刊行物閲覧室	1	96.97			
便所・廊下等		128.8			
小計		943.28			

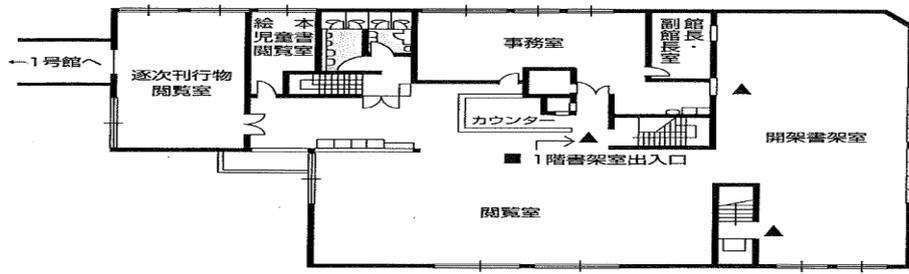
■ 1階平面図



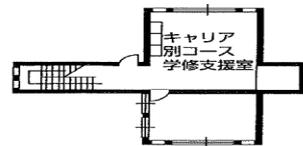
■ 中2階平面図



■ 2階平面図



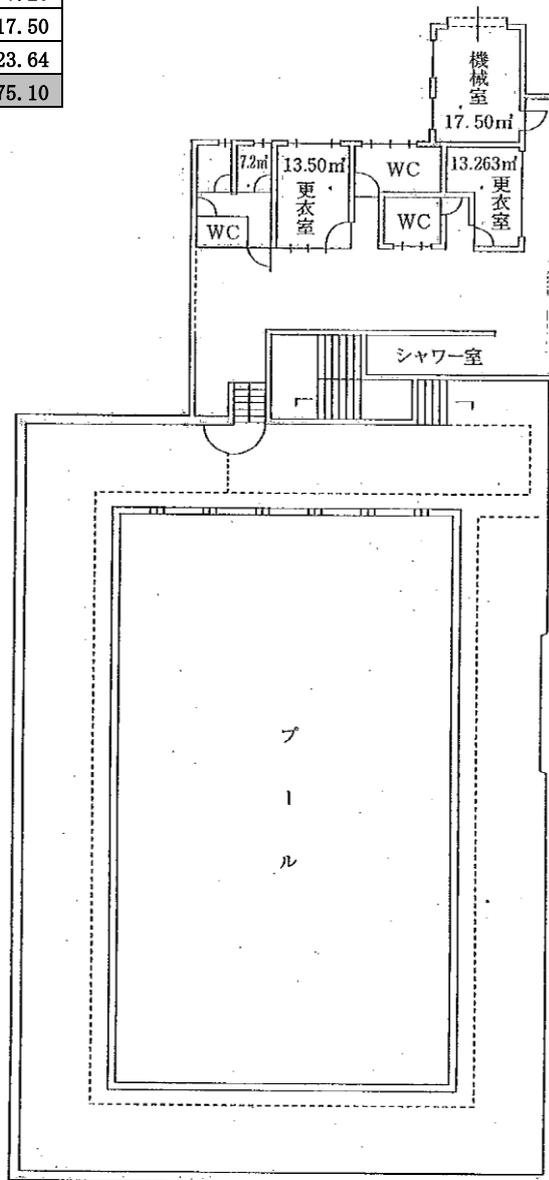
■ 3階平面図



▲…非常口

■短大屋外プール 平面図（未使用校舎）

名 称	室数	面 積 m <sup>2</sup>
男子更衣室	1	13.50
女子更衣室	1	13.26
教職員更衣室	1	7.20
機械室	1	17.50
廊下等		23.64
小計		75.10



## ○千葉経済大学短期大学部学則

## 第1章 総則

## (目的)

- 第1条 本学は、「片手に論語 片手に算盤」という建学の精神並びに「良識と創意」という校是を踏まえ、深く専門の学芸を教授研究し、職業または實際生活に必要な能力を育成し、もって社会の発展文化の向上に寄与することを使命とする。
- 2 本学に設置する各学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、別に定める。

## (名称および位置)

- 第2条 本学は、千葉経済大学短期大学部と称する。
- 2 本学を千葉県千葉市稲毛区轟町3丁目59番5号に置く。

## 第2章 学科、学生定員および修業年限

## (学科および学生定員)

- 第3条 本学に設置する学科および学生定員は、次のとおりとする。

学 科	入学定員	収容定員
ビジネスライフ学科	115名	230名
こども学科	115名	230名

- 2 こども学科に初等教育コース、保育コース及びキッズビジネスコースを置く。コースに関することは別に定める。

## (修業年限および在学年限)

- 第4条 本学の修業年限は、2年とする。ただし、在学年限（休学期間を除く）は、4年を超えることはできない。

## 第3章 学年、学期、授業日数および休業日

## (学年および学期)

- 第5条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終了する。学年を分けて次の2期とする。

- (1) 前期 4月1日から9月19日まで  
(2) 後期 9月20日から翌年3月31日まで

- 2 本学の1年間の授業日数は、定期試験等の日数を含め35週にわたり200日を原則とする。

## (休業日)

- 第6条 本学の休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日  
(2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日  
(3) 学園創立記念日 11月15日  
(4) 夏季休業 8月1日から9月19日まで  
(5) 冬季休業 12月23日から翌年1月9日まで  
(6) 春季休業 3月11日から4月4日まで

- 2 前項の規定にかかわらず、学長は臨時に休業日を設け、または休業日を変更することができる。

## 第4章 学科課程および履修方法

## (授業科目)

- 第7条 本学の教科課程に関しては、別表(1)、(2)および(3)に定めるところによる。

(履修登録単位数の上限)

第7条の2 学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、学生が1年間に履修科目として登録できる単位数の上限を別に定めるものとする。

(他学科の科目履修)

第7条の3 学生は、他学科に開設されている授業科目を履修し、単位を修得することができる。

2 他学科の科目履修に関して必要な事項は、別に定める。

(他の大学または短期大学における授業科目の履修)

第7条の4 学生が、他の大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、30単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(短期大学または大学以外の教育施設等における学修)

第7条の5 本学は、教育上有益と認めるときは、他の短期大学または高等専門学校の専攻科における学修、その他短期大学設置基準第15条に基づき文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項により与えることのできる単位数は、第7条の3により修得したものとみなした単位数と合わせて15単位を超えないものとする。

(単位の計算方法およびクラス編成)

第8条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修を考慮して、次の基準により単位数の計算およびクラス編成等を行うものとする。

(1) 講義については15時間、演習については30時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める演習科目については15時間で1単位とする。

(2) 実験、実習、実技の授業については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める実習科目については40時間で1単位とする。

(3) クラス編成方法等については別に定める。

(卒業の要件等)

第9条 卒業の要件は、休学期間を除き、本学に2年以上(第19条または第20条の規定により入学を許可された者については、その許可の際定められた在学すべき年数以上)在学し、それぞれの学科で定められた必修科目を含めて、ビジネスライフ学科は66単位以上、こども学科は62単位以上を修得することとする。

2 学長は、前項の規定による卒業の要件を備えた者の卒業を認定する。

(短期大学士)

第10条 前条により卒業した者には、本学学位規程の定めるところにより短期大学士の学位を授与する。

(資格の取得)

第11条 教育職員免許状を取得しようとする者は、第9条の規定によるほか、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)および教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める単位を修得しなければならない。

2 本学こども学科において取得できる教育職員免許状の種類は、小学校教諭2種免許状および幼稚園教諭2種免許状とする。

3 保育士の資格を得ようとする者は、第9条の規定によるほか、児童福祉法(昭和22年法律第164号)および児童福祉法施行規則(昭和23年厚生省令第11号)に定める単位を修得しなければならない。

4 司書の資格を得ようとする者は、第9条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、別表(3)のとおり科目および単位を修得しなければならない。

(学習の評価)

第12条 学習の評価は、秀、優、良、可、不可の5種類をもって表わし、秀、優、良、可は合格とし、不可は不合格とする。

(追試験)

第 1 3 条 病気その他本学が認めたやむを得ない事故のため定期試験に欠席した者は、追試験によって単位の認定をうけることができる。

(再試験)

第 1 4 条 成績が不可のため単位が認定されない科目については、再試験を行うことがある。

## 第 5 章 入学、休学および退学

(入学の時期)

第 1 5 条 本学の入学期は、毎学年の始めとする。

(入学の資格)

第 1 6 条 本学に入学することができる者は、次の各号の 1 に該当する者でなければならない。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 1 2 年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における 1 2 年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が認める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 1 7 年文部科学省令第 1 号）により高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 2 6 年文部省令第 1 3 号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(入学の出願)

第 1 7 条 本学に入学を志願する者は、所定の願書および必要書類に受験料 30,000 円をそえて志願手続をしなければならない。ただし、千葉経済大学附属高等学校長の推薦に基づき入学を志願した者および学長が特に認めた者については、受験料を免除することができる。

(入学者の選考)

第 1 8 条 前条の入学志願者に対し選考を行い、学長が合格者を決定する。

(入学手続および入学許可)

第 1 9 条 合格通知を受けた者は、所定の日までに保証人を定め、所定の学費を納入して入学手続を完了しなければならない。

(再入学)

第 2 0 条 退学または転学した者が再入学を願い出た場合は、以前に在学していたときの成績を考慮し、学長がこれを許可することができる。

(休学・休学期間および復学)

第 2 1 条 病気その他やむを得ない事由により引続き 3 ヶ月以上就学困難な者は、事由を付して休学願を提出し学長の許可を得なければならない。ただし、病気の場合は医師の診断書を添付するものとする。

2 休学期間は、学年を超えてはならない。ただし、特別の事情がある場合は願い出によりさらに 1 年以内に限り期間を延長することができる。

3 休学者は、休学期間終了 1 ヶ月前までに復学の手続をとらなければならない。

4 届け出た休学期間終了前にその休学の事由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。

5 休学期間は、通算して 2 年を超えることができない。

(退学および転学)

第 2 2 条 退学または転学しようとする者は、保証人連署のうえ退学または転学を願い出て学長の許可をうけなければならない。

(除籍)

第23条 次の各号の1に該当する者は、学長が除籍する。

- (1) 第4条に定める在学期間を超えた者
- (2) 休学期間を終了しても復学の手続をとらない者
- (3) 授業料の納付期限を経過し、督促を受けてもなお納付しない者
- (4) 死亡または行方不明の届け出のあった者

## 第6章 学費

(入学金等の金額)

第24条 本学の学費を次のとおり定める。

入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	諸費
300千円	年額 200千円	年額 650千円	年額 60千円	年額 26千円

2 千葉経済大学附属高等学校長の推薦に基づき入学を志願した者および学長が特に認めた者に係る入学金の額は、第1項の規定にかかわらず、全額免除とすることができる。

(入学金・授業料等)

第25条 入学手続きにあたっては、前条の学費を所定の日までに納入しなければならない。

- 2 授業料および施設設備費は2期に分割して納入するものとする。この場合、前期分は4月末日までに、また、後期分は10月末日までに納入しなければならない。教育充実費および諸費は4月末日までに納入しなければならない。
- 3 前条第1項の規定にかかわらず、入学金および授業料等は、別に定めるところにより、これを免除することができる。
- 4 第21条第1項の規定により休学を許可された場合は、休学期間中の授業料を免除するものとする。
- 5 第22条の規定により退学を許可され、または第23条の規定により除籍された場合は、未納の授業料を免除することができる。
- 6 第21条第4項の規定により復学を許可された場合は、復学のときから授業料を納入しなければならない。
- 7 第20条の規定により再入学を願い出て許可された者は、入学金および再入学選考料を納付しなければならない。
- 8 正当な理由なく授業料を期限までに納入しない者には、学長が登校停止を命ずることができる。
- 9 学長は、延納その他の特例措置を願い出た者について、やむを得ない特別の事情があると認められる場合は、第2項の規定にかかわらずこれを許可することができる。
- 10 第4項から第9項までの規程は、施設設備費、教育充実費および諸費について準用する。
- 11 一旦納入した学費は原則として返還しない。
- 12 学費として定めたもののほか、特定の科目等の履修のため特別に必要な実習教育費を徴収することができる。実習教育費に関することは別に定める。

## 第7章 職員組織

(職員組織)

第26条 本学に学長、教授、特任教授、准教授、特任准教授、講師、助教、助手および事務職員その他必要な職員をおく。

- (1) 学長は、学校法人千葉経済学園理事会がこれを選任し、校務をつかさどり、所属職員を統轄する。
- (2) 教授及び特任教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- (3) 准教授及び特任准教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であって、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- (4) 講師は、教授または准教授に準ずる職務に従事する。

(5) 助教は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の知識及び能力を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。

(6) 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。

2 本学に副学長をおくことができる。

(1) 副学長は、学長の推薦する者の中より学校法人千葉経済学園理事長がこれを補する。

(2) 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

3 副学長は、学長に事故があるとき、又は学長が欠けたときは、その職務を代行する。

(学科長ならびに教務部長、学生部長および就職部長)

第27条 本学に学科長ならびに教務部長、学生部長および就職部長をおく。

(1) 学科長は、教授の中より学長がこれを補し、学科の運営全般に関し、学長を補佐する。

(2) 教務部長は、教授または准教授の中より学長がこれを補し、主として教務に関する事項全般をつかさどる。

(3) 学生部長は、教授または准教授の中より学長がこれを補し、主として学生の厚生補導に関する事項全般（就職部長の所掌に属するものを除く。）をつかさどる。

(4) 就職部長は、教授または准教授の中より学長がこれを補し、学生の就職に関する事項全般をつかさどる。

## 第8章 教授会

(教授会)

第28条 本学に教授会を置き、学長および専任教授をもって組織する。

2 前項の規定にかかわらず、学長は、教授会には准教授または専任の講師、その他の教員を加えることができる。

3 学長は、教授会を召集し、その議長となる。

(教授会の審議事項)

第29条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了

(2) 学位の授与

(3) 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聞くことが必要なものとして学長が定めるもの

2 教授会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

(学科会議)

第29条の2 学科にそれぞれ学科会議をおく。

2 前項の学科会議は、教授会構成員のうち、それぞれの学科に所属する者をもって組織する。

3 学科会議は、教授会から委任された事項および教授会に付議すべき事項をそれぞれ審議する。

4 学科長は、それぞれ学科会議を召集し、その議長となる。

(教授会規則)

第30条 教授会に関する規則は、これを別に定める。

## 第9章 科目等履修生、特別聴講学生、外国人学生および委託生

(科目等履修生)

第31条 本学の1科目または数科目の授業科目の履修を希望する者に対しては、授業および研究に妨げのない場合にかぎり、選考の上、科目等履修生として履修を許可することがある。

2 科目等履修生に関して必要な事項は、別に定める。

(特別聴講学生)

第31条の2 他の大学または短期大学との協議にもとづき、当該大学の学生を特別聴講学生として入学を許可し、本学が開設する授業科目を履修させることがある。

2 特別聴講学生に関して必要な事項は、別に定める。

(外国人学生)

第 3 1 条の 3 外国人で本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人学生として入学を許可することができる。

2 外国人学生に関して必要な事項は、別に定める。

(委託生)

第 3 1 条の 4 公共機関またはそれに準ずる機関から、委託生としての申し出があるときは、本学の教育および研究に妨げのない場合にかぎり、選考の上、学長が入学を許可することができる。

2 委託生に関しての必要事項は、別に定める。

## 第 1 0 章 図書館

(図書館)

第 3 2 条 学生および教職員の研究または勉学に資するため、本学に図書館をおく。

2 図書館に関する規則は、別に定める。

## 第 1 1 章 表彰及び懲戒

(表彰)

第 3 3 条 品行方正、学術優秀な者、また学生として模範的行為があった者については、学長がこれを表彰することができる。

(懲戒)

第 3 4 条 本学の規則に反し、その他学生の本分に反する行為があったときは、学長は、訓告、停学または退学を命ずることができる。

2 前項の退学等は、次の各号の 1 に該当する学生に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当な理由がなくて出席常でない者

(4) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

(特待生)

第 3 5 条 第 1 8 条の規定による選考に合格した者のうち特に成績が優秀な者若干名並びに本学学生として在学中、学業成績が特に優秀で他の学生の模範となるべき者若干名について、別に定めるところにより、特待生として授業料の全部または一部を免除することができる。

附 則

本学則は、昭和 4 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和 4 3 年 1 0 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和 4 4 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則中第 6 条および第 1 0 条については、昭和 4 4 年 1 0 月 1 日から、第 7 条および第 2 6 条については、昭和 4 5 年 4 月 1 日からそれぞれ施行する。ただし、昭和 4 4 年度以前の入学者については、第 2 6 条の改正規定は適用しない。

附 則

この改正学則は、昭和 4 5 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和 4 6 年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和 4 5 年度以前の入学者については、この改正規定は適用しない。

附 則

この改正学則は、昭和 4 7 年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和 4 6 年度以前の入学者については、この改正規定は適用しない。

附 則

この改正学則は、昭和 48 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和 49 年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和 48 年度以前の入学者については、この改正規定は適用しない。

附 則

この改正学則中第 28 条および第 29 条については、昭和 49 年 10 月 1 日から、第 26 条については、昭和 50 年 4 月 1 日からそれぞれ施行する。ただし、昭和 49 年度以前の入学者については、第 26 条の改正規定は適用しない。

附 則

この改正学則は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 26 条については、昭和 50 年度以前の入学者には、この改正規定は適用しない。

附 則

この改正学則は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和 52 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和 53 年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和 52 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

この改正学則は、昭和 54 年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和 53 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

この改正学則は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 24 条の改正規定は、昭和 54 年度以前の入学者には適用しない。

附 則

この改正学則は、昭和 56 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 24 条の改正規定は、昭和 55 年度以前の入学者には適用しない。

附 則

この改正学則は、昭和 57 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和 58 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 9 条第 4 号および別表(2)の改正規定は、昭和 58 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

この改正学則は、昭和 60 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 9 条の改正規定は、昭和 59 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

この改正学則は、昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和 60 年度以前の入学者については、なお従前の学則による。

附 則

この改正学則は、昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。ただし、昭和 60 年度以前の入学者については、第 16 条、第 24 条および第 41 条の改正規定を除き、なお従前の学則による。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 昭和 62 年度における商経科第 1 部の学生総定員は、第 3 条の規定にかかわらず、350 名とし、商経専攻にあっては 150 名、経営情報専攻にあっては 50 名とする。
- 3 昭和 62 年度における商経科第 2 部の学生総定員は、第 3 条の規定にかかわらず、180 名とする。
- 4 昭和 61 年度以前の入学者については、改正後の第 24 条第 1 項、第 41 条第 1 項および別表(1)の表中貿易論の規定を除き、なお従前の学則による。

附 則

- 1 この改正学則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。

2 昭和 6 2 年度以前の入学者については、改正後の第 2 4 条第 1 項および第 4 1 条第 1 項の規定ならびに別表(1)から別表(3)まで(保健体育講義および器楽 I の欄の規定を除く。)を除き、なお従前の学則による。

附 則

この改正学則は、昭和 6 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この改正学則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成元年度以前の入学生については、改正後の学則第 1 0 条第 2 項および第 2 4 条第 1 項の規定を除き、なお従前の学則による。
- 3 平成 2 年度以降における商経科第 1 部経営情報専攻の入学定員および総定員は、第 3 条の規定にかかわらず、次表のとおりとする。

学 科	平成 2 年度		平成 3 ~ 1 0 年度		平成 1 1 年度		平成 1 2 年度以降	
	入学定員	総定員	入学定員	総定員	入学定員	総定員	入学定員	総定員
商経科 第 1 部	名 2 5 0	名 4 5 0	名 2 5 0	名 5 0 0	名 2 0 0	名 4 5 0	名 2 0 0	名 4 0 0
経営情 報専攻	1 0 0	1 5 0	1 0 0	2 0 0	5 0	1 5 0	5 0	1 0 0

附 則

- 1 この改正学則は、平成 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 2 年度以前の入学生については、改正後の学則第 2 4 条第 1 項の規定および別表(1)ならびに別表(2)を除き、なお従前の学則による。
- 3 平成 3 年度以降における商経科第 1 部商経専攻の入学定員および総定員は、第 3 条の規定にかかわらず、次表のとおりとする。

学 科	平成 5 年度		平成 6 ~ 1 0 年度		平成 1 1 年度		平成 1 2 年度	
	入学定員	総定員	入学定員	総定員	入学定員	総定員	入学定員	総定員
商経科第 1 部 商経専攻	名 2 0 0	名 4 0 0	名 2 0 0	名 4 0 0	名 2 0 0	名 4 0 0	名 1 5 0	名 3 5 0
経営情報専攻	0	1 0 0						
経営情報専攻	1 0 0	1 0 0	1 0 0	2 0 0	5 0	1 5 0		

附 則

- 1 この改正学則は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 3 年度以前の入学生については、改正後の学則第 9 条第 1 項および第 2 4 条第 1 項ならびに別表(1)から別表(3)まで(別表(1)の表中生活経営論、別表(2)の表中経営管理、マーケティング、別表(3)の表中スキー(Ⅱ)、書き言葉演習、教育方法演習、教育学総合演習、教育行政演習、社会科教育演習、教育研究、保育総合演習の欄の規定を除く。)を除き、なお従前の学則による。

附 則

- 1 この改正学則は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 4 年度以前の入学生にかかる学科課程のうち、別表(1)の表中商法および OA 実務 I については、なお従前の学則による。
- 3 平成 5 年度以降における商経科第 1 部および経営情報科の入学定員ならびに総定員は、第 3 条の規定にかかわらず、次表のとおりとする。

学 科	平成 5 年度		平成 6 ~ 1 0 年度		平成 1 1 年度		平成 1 2 年度	
	入学定員	総定員	入学定員	総定員	入学定員	総定員	入学定員	総定員

商経科第1部	名	名	名	名	名	名	名	名
商経専攻	200	400	200	400	200	400	150	350
経営情報専攻	0	100						
経営情報科	100	100	100	200	50	150		

## 附 則

この改正学則は、平成6年4月1日から施行する。ただし、第9条の改正規定は、平成5年度以前の入学生については、なお従前の学則による。

## 附 則

この改正学則は、平成7年4月1日から施行する。

## 附 則

- この改正学則は、平成8年4月1日から施行する。
- 平成7年度の入学生については、改正後の学則第7条の2、第9条第1項第3号および別表(1)の表中商経科第1部経済政策総論、ジェンダー論、商経科第2部経済政策総論(卒業の要件を除く。)ならびに秘書学概論の欄の規定を除き、なお従前の学則による。

## 附 則

この学則は、平成9年4月1日から施行する。ただし、別表(1)の表中生涯学習概論、図書館概論、別表(3)の表中生涯学習概論、図書館概論、コンピュータリテラシー、保育総合演習Ⅰ、保育総合演習Ⅱおよび別表(4)については、平成8年度入学生から適用する。

## 附 則

この学則は、平成10年4月1日から施行する。ただし、別表(3)の表中教育法規・指導要領演習、ピアノ音楽Ⅰ、ピアノ音楽Ⅱ、別表(4)の表中図書館特講については、平成9年度入学生から適用する。

## 附 則

- この改正学則は、平成11年4月1日から施行する。ただし、別表(1)の表中房総の地域史Ⅰ及び房総の地域史Ⅱについては、平成10年度入学生から適用する。
- 平成11年度における経営情報科の入学定員ならびに収容定員は、第3条の規定にかかわらず、次表のとおりとする。

学 科	平成11年度	
	入学定員	収容定員
経営情報科	100	200

## 附 則

- この改正学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 平成12年度以降の商経科第1部の入学定員ならびに収容定員は、第3条の規定にかかわらず、次表のとおりとする。

学 科	平成12年度		平成13年度		平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	入学定員	収容定員								
商経科第1部	190	390	180	370	170	350	160	330	150	310

## 附 則

この改正学則は、平成13年4月1日から施行する。ただし、別表(1)の表中現代日本経済論、観光地理、上級簿記および女性学、別表(2)の表中経営管理論およびビジネス情報英語、別表(3)の表中教育・保育法規については、平成12年度入学生から適用する。

## 附 則

- この改正学則は、平成14年4月1日から施行し、改正後の第24条の規定は平成14年度入学者から適用する。
- 別表(1)の表中日本経済の基礎知識、現代経済事情およびファイナンシャル・プランナー、別表(2)の表中企業戦略論、経営データ分析およびコンピュータ演習Ⅲ、別表(4)の表中生涯学習概論、

図書館経営論、専門資料論、図書および図書館史、資料特論および情報機器論については、平成13年度入学者から適用する。

附 則

この学則は、平成15年4月1日から施行する。ただし、別表(1)の表中上級秘書学、別表(2)の表中コンピュータネットワーク論、上級秘書学、別表(3)の表中歌唱伴奏法、レクリエーション概論およびレクリエーション実技については平成14年度入学生から適用する。

附 則

1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、商経科、経営情報科および初等教育科は、改正後の第3条の規定にかかわらず、平成16年3月31日に該当学科に在学するものが該当学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

2 別表(1)の表中 Cross-Cultural CommunicationⅡおよび秘書学特講、別表(2)の表中 Cross-Cultural CommunicationⅡについては、平成15年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成16年11月25日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。

2 別表(1)の表中 Cross-Cultural Communication およびキャリアデザイン、別表(2)の表中 Cross-Cultural Communication については、平成16年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成17年11月9日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年1月18日から施行する。

附 則

この学則は、平成18年4月1日から施行し、改正後の第36条の規定は平成18年度入学生に係る特待生から適用する。ただし、平成18年度におけるビジネスライフ学科およびこども学科の収容定員は、改正後の第3条にかかわらず次表のとおりとする。

学科	平成18年度
	収容定員
ビジネスライフ学科	350名
こども学科	350名

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表(2)表中リトミックⅠおよびリトミックⅡについては、平成18年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。

2 別表(1)の表中スキーⅠおよびスキーⅡについては、平成19年度入学生から適用する。

3 別表(2)の表中ピアノ簡易奏法、スクーバダイビング、乗馬、教育・保育等ボランティアⅠ、教育・保育等ボランティアⅡ、教育・保育等ボランティアⅢおよび教育・保育等ボランティアⅣについては、平成19年度入学生から適用する。

附 則

1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。

2 別表(1)の表中、「現代社会と産業A」及び「現代社会と産業B」については、平成20年度入学生から適用する。

附 則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年7月14日改正)

この学則は、平成23年4月1日から施行し、平成23年度入学生から適用する。

附 則（平成 23 年 1 月 19 日改正）

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行し、平成 23 年度入学生から適用する。

附 則（平成 23 年 2 月 23 日改正）

- 1 この学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 22 年度入学生については、改正後の学則第 8 条第 2 号および別表(1)表中、「証券実務」「DCプランナー」「ファッション色彩論Ⅰ」「ファッション色彩論Ⅱ」を除き、なお従前の学則による。
- 2 平成 21 年度以前入学生については、改正後の学則第 8 条第 2 号を除き、なお従前の学則による。

附 則（平成 23 年 5 月 18 日改正）

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 24 年度におけるビジネスライフ学科の収容定員は、改正後の第 3 条の規定にかかわらず 270 名とする。

附 則（平成 24 年 2 月 22 日改正）

- 1 この学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 23 年度入学生については、別表(1)の表中、「インターネットワーキング実習 A」「インターネットワーキング実習 B」を除き、なお従前の学則による。
- 2 平成 22 年度以前入学生については、なお従前の学則による

附 則（平成 25 年 10 月 9 日改正）

- 1 この学則は、平成 25 年 10 月 9 日から施行する。

附 則（平成 25 年 2 月 20 日改正）

- 1 この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 24 年度入学生については、別表(1)の表中、「公務員試験対策講座 A」「公務員試験対策講座 B」、別表(2)表中、「造形表現指導法」を除き、なお従前の学則による。
- 2 平成 23 年度以前入学生については、なお従前の学則による。

附 則（平成 26 年 2 月 19 日改正）

- 1 この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 25 年度入学生については、別表(1)の表中、「ブライダル総論Ⅰ」「ブライダル総論Ⅱ」「パーソナルカラーⅠ」「パーソナルカラーⅡ」を除き、なお従前の学則による。
- 2 平成 24 年度以前入学生については、なお従前の学則による。

附 則（平成 27 年 1 月 21 日改正）

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 27 年 2 月 18 日改正）

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

- 1 この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 26 年度入学生については、別表(2)の表中、「保育士試験対策講座Ⅰ」「保育士試験対策講座Ⅱ」を除き、なお従前の学則による。
- 2 平成 25 年度以前入学生については、なお従前の学則による。

附 則（平成 27 年 5 月 26 日改正）

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行し、平成 28 年度入学生から適用する。

附 則（平成 28 年 3 月 31 日改正）

- 1 この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 27 年度入学生については、別表(1)の表中、「ビジネス法規Ⅱ」「ウエディングプランニングⅠ」「ウエディングプランニングⅡ」「医療秘書」「ホテルビジネスⅠ」「ホテルビジネスⅡ」を除き、なお従前の学則による。
- 2 平成 26 年度以前入学生については、なお従前の学則による。

附 則（平成 29 年 3 月 28 日改正）

- 1 この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 28 年度入学生については、別表(2)の表中、「弾き歌い」を除き、なお、従前の学則による。
- 2 平成 27 年度以前入学生については、なお従前の学則による。

附 則（平成 29 年 11 月 15 日改正）

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 30 年度におけるビジネスライフ学科の収容定員は、改正後の第 3 条にかかわらず次表のとおりとする。

学科	収容定員
ビジネスライフ学科	260名

附 則（平成 30 年 3 月 29 日改正）

- 1 この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 29 年度入学生については、別表(1)の表中、「観光ビジネス」を除き、なお、従前の学則による。
- 2 平成 28 年度以前入学生については、なお従前の学則による。

附 則（平成 30 年 7 月 26 日改正）

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 30 年度以前入学生については、なお従前の学則による。

附 則（平成 31 年 3 月 25 日改正）

- 1 この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 30 年度入学生については、別表 (1)の表中、「ビジネスに活かせる生物学入門」「観光ビジネスⅠ」「観光ビジネスⅡ」を除き、なお、従前の学則による。
- 2 平成 29 年度以前入学生については、なお従前の学則による。

附 則（令和 2 年 3 月 25 日改正）

- 1 この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 条第 2 項及び第 24 条第 1 項については、令和 3 年度入学生から適用し、令和 2 年度以前入学生については、なお従前の学則による。
- 2 平成 31 年度入学生については、別表 (1) の表中、「歴史からみる人間の経済Ⅰ」「歴史からみる人間の経済Ⅱ」「ニュースで学ぶ現代経済 B」を除き、なお従前の学則による。
- 3 平成 30 年度以前入学生については、なお従前の学則による。

附 則（令和 3 年 3 月 25 日改正）

この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 2 年度以前入学生については、なお従前の学則による。

附 則（令和 3 年 11 月 4 日改正）

この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行し、第 24 条第 2 項の改正は、令和 4 年度入学生から適用する。

附 則（令和 4 年 3 月 25 日改正）

- 1 この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 3 年度入学生については、別表 (1)の表中、「生活と地域の多様性」「韓国語入門Ⅰ」「韓国語入門Ⅱ」「情報と社会」、別表 (2) の表中、「キッズビジネスⅤ」「生活と地域の多様性」「韓国語入門Ⅰ」「韓国語入門Ⅱ」「情報と社会」を除き、なお従前の学則による。
- 2 令和 2 年度以前入学生については、なお従前の学則による。

附 則（令和 4 年 11 月 4 日改正）

この学則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 5 年 3 月 24 日改正）

- 1 この学則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。ただし、改正後の第 3 条は令和 6 年度から適用する。
- 2 令和 6 年度こども学科の収容定員については、改正後の第 3 条中、「340 名」を「370 名」に読み替えて適用する。
- 3 改正後の別表(1)にかかわらず、令和 4 年度入学生については、改正前の別表(1)に「マーケティング入門 A」「マーケティング入門 B」を加えて適用し、令和 3 年度以前入学生については、改正前の別表(1)を適用する。
- 4 改正後の別表(2)にかかわらず、令和 4 年度以前入学生については、改正前の別表(2)を適用する。

附 則（令和 6 年 3 月 25 日改正）

- 1 この学則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。ただし、令和 5 年度入学生については、別表 (1)の表中、「色とコミュニケーション」を除き、なお従前の学則による。
- 2 令和 4 年度以前入学生については、なお従前の学則による。

附 則（令和 6 年 11 月 11 日改正）

この学則は、令和 6 年 11 月 11 日から施行する。

附 則（令和 7 年 3 月 25 日改正）

- 1 この学則は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。ただし、改正後の第 3 条は令和 8 年度から適用する。
- 2 令和 8 年度ビジネスライフ学科の収容定員については、改正後の第 3 条中、「230 名」を「255 名」、こども学科の収容定員については、改正後の第 3 条中、「230 名」を「285 名」に読み替えて適用する。
- 3 改正後の別表 (1) ならびに別表 (2) にかかわらず、令和 6 年度以前の入学生については、なお

従前の学則による。

別表(1) ビジネスライフ学科

区 分	授 業 科 目	必 修	選 択	形 態	備 考
コ ア	キ ャ リ ア デ ザ イ ン I	2		講義	
	キ ャ リ ア デ ザ イ ン II	2		講義	
	P C リ テ ラ シ ー	1		演習	
	基 礎 ゼ ミ	1		演習	
	専 門 ゼ ミ I	1		演習	
	専 門 ゼ ミ II	1		演習	
	専 門 ゼ ミ III	1		演習	
ベ ー ス	歴 史 に 親 し む A		2	講義	
	歴 史 に 親 し む B		2	講義	
	地 理 に 親 し む A		2	講義	
	地 理 に 親 し む B		2	講義	
	文 学 に 親 し む A		2	講義	
	文 学 に 親 し む B		2	講義	
	色 と コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン		2	講義	
	生 活 と 法 A		2	講義	
	生 活 と 法 B		2	講義	
	人 間 と 社 会 A		2	講義	
	人 間 と 社 会 B		2	講義	
	生 活 と 地 域 の 多 様 性		2	講義	
	キ ャ ン パ ス 心 理 学		2	講義	
	自 然 科 学 へ の 招 待 A		2	講義	
	自 然 科 学 へ の 招 待 B		2	講義	
	ビ ジ ネ ス に 活 か せ る 生 物 学 入 門		2	講義	
	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン I		1	演習	
	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン II		1	演習	
	ビ ジ ネ ス 英 会 話		1	演習	
	映 画 で 学 ぶ 英 語 表 現		1	演習	
	韓 国 語 入 門 I		1	演習	
	韓 国 語 入 門 II		1	演習	
	ス ポ ー ツ 演 習 I		1	実技	
	ス ポ ー ツ 演 習 II		1	実技	
	ス ク ー バ ダ イ ビ ン グ		1	実技	
	乗 馬		1	実技	
	ベ ー ス ア ッ プ	日 本 語 表 現 I		1	演習
日 本 語 表 現 II			1	演習	
情 報 と 社 会			2	講義	
社 会 人 基 礎 力 養 成 A			1	演習	
社 会 人 基 礎 力 養 成 B			1	演習	
イ ン タ ー ン シ ッ プ			2	実習	
ビ ジ ネ ス 法 規 I			2	講義	
ビ ジ ネ ス 法 規 II			2	講義	
キ ャ リ ア デ ザ イ ン III			2	講義	
経 営 学 A			2	講義	
経 済 学 A			2	講義	
基 礎 簿 記 I			2	講義	
経 営 学 B			2	講義	
経 済 学 B			2	講義	
基 礎 簿 記 II			2	講義	
コ ン プ ュ ー タ 実 習 I			1	演習	
ビ ジ ネ ス コ ン プ ュ ー テ ィ ン グ I			1	演習	
コ ン プ ュ ー タ 実 習 II			1	演習	
ビ ジ ネ ス コ ン プ ュ ー テ ィ ン グ II			1	演習	

区 分	授 業 科 目	必修	選択	形態	備 考
キャリアアップ	ビ ジ ネ ス 実 務 論		2	講義	
	ホ ス ピ タ リ テ ィ サ ー ビ ス		2	講義	
	観 光 ビ ジ ネ ス I		2	講義	
	観 光 ビ ジ ネ ス II		2	講義	
	マ ネ ジ メ ン ト 論		2	講義	
	マ ー ケ テ ィ ン グ 入 門 A		2	講義	
	マ ー ケ テ ィ ン グ 入 門 B		2	講義	
	経 営 デ ー タ 分 析 I		2	講義	
	経 営 デ ー タ 分 析 II		2	講義	
	秘 書 学 I		2	講義	
	秘 書 学 II		2	講義	
	歴 史 か ら み る 人 間 の 経 済 A		2	講義	
	歴 史 か ら み る 人 間 の 経 済 B		2	講義	
	ニ ュ ー ス で 学 ぶ 現 代 経 済 A		2	講義	
	ニ ュ ー ス で 学 ぶ 現 代 経 済 B		2	講義	
	金 融 論 入 門 A		2	講義	
	金 融 論 入 門 B		2	講義	
	証 券 実 務		2	講義	
	ファイナンシャル・プランナー入門		2	講義	
	ファイナンシャル・プランニング演習 I		1	演習	
	ファイナンシャル・プランニング演習 II		1	演習	
	生 活 と 税 金 I		2	講義	
	生 活 と 税 金 II		2	講義	
	簿 記 演 習 I		2	講義	
	簿 記 演 習 II		2	講義	
	応 用 簿 記 I		2	講義	
	応 用 簿 記 II		2	講義	
	原 価 計 算 I		2	講義	
	原 価 計 算 II		2	講義	
	は じ め て の 会 計 学 I		2	講義	
	は じ め て の 会 計 学 II		2	講義	
	コ ン ピ ュ ー タ 会 計 I		2	講義	
	コ ン ピ ュ ー タ 会 計 II		2	講義	
	フ ァ ッ シ ョ ン ビ ジ ネ ス 論 I		2	講義	
	フ ァ ッ シ ョ ン 販 売 論 I		2	講義	
	フ ァ ッ シ ョ ン ビ ジ ネ ス 論 II		2	講義	
	フ ァ ッ シ ョ ン 販 売 論 II		2	講義	
	ブ ラ ン ド ビ ジ ネ ス 論 A		2	講義	
	ブ ラ ン ド ビ ジ ネ ス 論 B		2	講義	
	色 彩 学 I		2	講義	
	色 彩 学 II		2	講義	
	パ ー ソ ナ ル カ ラ ー I		2	講義	
	パ ー ソ ナ ル カ ラ ー II		2	講義	
	ブ ラ イ ダ ル 総 論 I		2	講義	
	ウ ェ デ ィ ン グ プ ラ ン ニ ン グ I		1	演習	
	ブ ラ イ ダ ル 総 論 II		2	講義	
	ウ ェ デ ィ ン グ プ ラ ン ニ ン グ II		1	演習	
	ホ テ ル ビ ジ ネ ス I		1	演習	
	ホ テ ル ビ ジ ネ ス II		1	演習	
	コ ン ピ ュ ー タ 概 論 A		2	講義	
	コ ン ピ ュ ー タ 概 論 B		2	講義	

区 分	授 業 科 目	必修	選択	形態	備 考
	情 報 シ ス テ ム 概 論		2	講義	
	情 報 セ キ ュ リ テ ィ		2	講義	
	情 報 ネ ッ ト ワ ー ク		2	講義	
	デ ー タ ベ ー ス 概 論		2	講義	
	デ ジ タ ル グ ラ フ ィ ッ ク A		2	講義	
	デ ジ タ ル グ ラ フ ィ ッ ク B		2	講義	
	ビ ジ ュ ア ル 情 報 処 理		2	講義	
	W e b サ イ ト 制 作 I		2	講義	
	W e b サ イ ト 制 作 II		2	講義	
	W e b サ イ ト デ ザ イン		2	講義	
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門 I		2	講義	
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門 II		2	講義	
	C 言 語 プ ロ グ ラ ミ ン グ I		2	講義	
	C 言 語 プ ロ グ ラ ミ ン グ II		2	講義	
チ ャ レ ン ジ	医 療 事 務		2	演習	
	医 療 秘 書		2	演習	
	ト ラ ベ ル 実 務 I		1	演習	
	ト ラ ベ ル 実 務 II		1	演習	
	ト ラ ベ ル 実 務 III		1	演習	
	公 務 員 試 験 対 策 A		1	演習	
	公 務 員 試 験 対 策 B		1	演習	
	自 己 表 現 講 座		1	演習	
	S P I 対 策 講 座		1	演習	
	英 検 ・ TOEIC 対 策 講 座		1	演習	

別表(2) こども学科

区 分		授 業 科 目	必修	選択	形態	備 考	
共 通	一般教養科目	文 学		2	講義		
		歴 史 へ の 旅		2	講義		
		法 学 ( 日 本 国 憲 法 )		2	講義		
		社 会 学		2	講義		
		心 理 学		2	講義		
		数 学		2	講義		
		生 物 学		2	講義		
		文 章 表 現 法	2		講義		
	基礎科目	こ ども 学 原 論	2		講義		
		英 語 コミュニケーション	2		演習		
		基 礎 演 習	1		演習		
		キ ャ リ ア 演 習		1	演習	キッズビジネスコースのみ必修	
		ス ポ ー ツ 演 習	2		実技		
		健 康 科 学 概 論		2	講義		
	その他の科目	教 育 情 報 処 理		2	演習	キッズビジネスコースのみ必修	
ス ク ー バ ダ イ ビ ン グ			1	実技			
専 門 教 育 科 目	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国 語 学 概 説		2	講義	
			社 会 科 概 説		2	講義	
			数 学 概 説		2	講義	
			自 然 科 学 概 説		2	講義	
			生 活 概 説		2	講義	
			基 礎 音 楽		1	演習	
			器 楽 I		2	演習	
			器 楽 II		2	演習	
			基 礎 造 形		2	演習	
			家 庭 科 概 説		2	講義	
			基 礎 体 育		1	演習	
			英 語 概 説		2	講義	
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	国 語 科 指 導 法		2	演習		
		社 会 科 指 導 法		2	演習		
		算 数 科 指 導 法		2	演習		
		理 科 指 導 法		2	演習		
		生 活 科 指 導 法		2	演習		
		音 楽 科 指 導 法		2	演習		
		図 画 工 作 科 指 導 法		2	演習		
		家 庭 科 指 導 法		2	演習		
		体 育 科 指 導 法		2	演習		
		英 語 科 指 導 法		2	演習		
	領域及び保育内容の指導	領域に関する専門的事項	こ ども と 健 康		1	演習	
			こ ども と 人 間 関 係		1	演習	
			こ ども と 環 境		1	演習	
			こ と も と 言 葉		1	演習	
			こ ども と 表 現		1	演習	
	含み(保育内容の指導及び教材の活用)の機器及び	保 育 内 容 演 習 I		2	演習		
		保 育 内 容 演 習 II		2	演習		
		保 育 内 容 演 習 III		2	演習		
	教育に関する基礎的科目	教 育 原 理		2	講義		
		教 職 概 説		2	講義		
		教 育 の 制 度 と 経 営		2	講義		
教 育 心 理 学			2	講義			
特 別 支 援 教 育			2	講義			

区 分	授 業 科 目	必修	選択	形態	備 考	
専 門 教 育 科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道 徳 教 育		2	講義	
		総合的な学習の時間の指導法		2	講義	
		特 別 活 動		2	講義	
		教 育 方 法 I		2	講義	
		教 育 方 法 II		2	講義	
		I C T 活 用 の 理 論 と 方 法		1	演習	
		生徒指導及び進路指導の理論と方法		2	講義	
		幼 児 理 解		2	講義	
		教 育 相 談		2	講義	
	教育実践に関する科目	教 育 実 習		5	実習	
		教 職 実 践 演 習 ( 小 )		2	演習	
		教 職 実 践 演 習 ( 幼 )		2	演習	
		教 職 実 践 演 習 ( 幼 保 )		2	演習	
	総合科目	書 道 概 説		2	講義	
		論 文 演 習		1	演習	
		文 章 表 現 演 習		1	演習	
		遊 び 指 導 法		2	演習	
		公 立 採 用 試 験 演 習 I		1	演習	
		公 立 採 用 試 験 演 習 II		1	演習	
		音 楽 表 現 を 楽 し む		1	演習	
		造 形 表 現 を 楽 し む		1	演習	
		保 育 フ ィ ー ル ド ワ ー ク		1	演習	
		ベビーシッターの実務と理論		2	講義	
		小 学 校 フ ィ ー ル ド 演 習		1	演習	
	保育の本質・目的に関する科目	保 育 原 理		2	講義	
		こ ども 家 庭 福 祉		2	講義	
		社 会 福 祉		2	講義	
		こ ども 家 庭 支 援 論		2	講義	
		社 会 的 養 護 I		2	講義	
		保 育 者 論		2	講義	
	保育の対象の理解に関する科目	保 育 の 心 理 学		2	講義	
		こ ども 家 庭 支 援 の 心 理 学		2	講義	
		こ ども の 理 解 と 援 助		2	演習	
		こ ども の 保 健		2	講義	
		こ ども の 食 と 栄 養		2	演習	
	保育の内容・方法に関する科目	保 育 の 計 画 と 評 価		2	講義	
		保 育 内 容 総 論		2	演習	
		乳 児 保 育 I		2	講義	
		乳 児 保 育 II		1	演習	
		こ ども の 健 康 と 安 全		1	演習	
		特 別 支 援 の 教 育 と 保 育		2	演習	
		社 会 的 養 護 II		1	演習	
		子 育 て 支 援		1	演習	
		こ ども 文 化 論		2	講義	
		幼 児 体 育		1	演習	
		レクリエーション概論		2	講義	
		レクリエーション実技		1	実技	
リ ト ミ ッ ク I			1	演習		
リ ト ミ ッ ク II		1	演習			

区 分	授 業 科 目	必修	選択	形態	備 考	
専 門 教 育 科 目	保 育 実 習	保 育 実 習 I A		2	実習	
		保 育 実 習 I B		2	実習	
		保 育 実 習 指 導 I ( 事 前 )		1	演習	
		保 育 実 習 指 導 I ( 事 後 )		1	演習	
		保 育 実 習 II		2	実習	
		保 育 実 習 III		2	実習	
		保 育 実 習 指 導 II		1	演習	
		保 育 実 習 指 導 III		1	演習	
	ビジネスに関する科目	キ ャ ン パ イ ン ン グ ビ ジ ネ ス I		2	講義	キャンパスビジネスコースのみ必修
		キ ャ ン パ イ ン ン グ ビ ジ ネ ス II		2	講義	キャンパスビジネスコースのみ必修
		キ ャ ン パ イ ン ン グ ビ ジ ネ ス III		2	講義	キャンパスビジネスコースのみ必修
		キ ャ ン パ イ ン ン グ ビ ジ ネ ス IV		2	講義	キャンパスビジネスコースのみ必修
		キ ャ ン パ イ ン ン グ ビ ジ ネ ス V		2	講義	キャンパスビジネスコースのみ必修
		キ ャ ン パ イ ン ン グ ビ ジ ネ ス 総 合 演 習		1	演習	キャンパスビジネスコースのみ必修
		ド イ ツ お も ち や 文 化 論		2	講義	キャンパスビジネスコースのみ必修
		キ ャ ン パ イ ン ン グ ビ ジ ネ ス 実 務 体 験		1	実習	
		キ ャ ン パ イ ン ン グ デ ザ イ ン I		2	講義	キャンパスビジネスコースのみ必修
		キ ャ ン パ イ ン ン グ デ ザ イ ン II		2	講義	キャンパスビジネスコースのみ必修
		生 活 と 地 域 の 多 様 性		2	講義	
		韓 国 語 入 門 I		1	演習	
		韓 国 語 入 門 II		1	演習	
		情 報 と 社 会		2	講義	
		経 営 学 A		2	講義	
		経 済 学 A		2	講義	
		基 礎 簿 記 I		2	講義	
		経 営 学 B		2	講義	
		経 済 学 B		2	講義	
		基 礎 簿 記 II		2	講義	
		コ ン プ ュ ー タ 実 習 I		1	演習	
ビ ジ ネ ス コ ン プ ュ ー テ ィ ン グ I			1	演習		
コ ン プ ュ ー タ 実 習 II			1	演習		
ビ ジ ネ ス コ ン プ ュ ー テ ィ ン グ II			1	演習		
ビ ジ ネ ス 実 務 論			2	講義		
ホ ス ピ タ リ テ ィ サ ー ビ ス			2	講義		
観 光 ビ ジ ネ ス I			2	講義		
観 光 ビ ジ ネ ス II			2	講義		
マ ネ ジ メ ン ト 論			2	講義		
秘 書 学 I			2	講義		
秘 書 学 II			2	講義		
フ ァ ッ シ ョ ン ビ ジ ネ ス 論 I			2	講義		
フ ァ ッ シ ョ ン 販 売 論 I		2	講義			
フ ァ ッ シ ョ ン ビ ジ ネ ス 論 II		2	講義			
フ ァ ッ シ ョ ン 販 売 論 II		2	講義			
ブ ラ ン ド ビ ジ ネ ス 論 A		2	講義			
ブ ラ ン ド ビ ジ ネ ス 論 B		2	講義			
色 彩 学 I		2	講義			
色 彩 学 II		2	講義			
医 療 事 務		2	演習			
医 療 秘 書		2	演習			
公 務 員 試 験 対 策 A		1	演習			
公 務 員 試 験 対 策 B		1	演習			
自 己 表 現 講 座		1	演習			
S P I 対 策 講 座		1	演習			

別表(3) 司書課程

区 分		授業科目	必修	選択	形態	備 考
専門教育科目	司書に関する科目	生涯学習概論		2	講義	
		図書館概論		2	講義	
		図書館情報技術論		2	講義	
		図書館制度・経営論		2	講義	
		図書館サービス概論		2	講義	
		情報サービス論		2	講義	
		児童サービス論		2	講義	
		情報サービス演習Ⅰ		1	演習	
		情報サービス演習Ⅱ		1	演習	
		図書館情報資源概論		2	講義	
		情報資源組織論		2	講義	
		情報資源組織演習Ⅰ		1	演習	
		情報資源組織演習Ⅱ		1	演習	
		図書館基礎特論		1	講義	
		図書館サービス特論		1	講義	
		図書館情報資源特論		1	講義	
		図書・図書館史		1	講義	
		図書館施設論		1	講義	
		図書館実習		2	実習	

## 変更事項を記載した書類

### 1. 事由

志願者の動向を踏まえ、収容定員を減じ適正な収容定員とするため。

### 2 変更点

令和7年度より、ビジネスライフ学科の入学定員を140名から115名、収容定員280名から230名に変更する。また、こども学科の入学定員を170名から115名、収容定員を340名から230名に変更する。ただし、適用は令和8年度からとする。

学科名	現行		変更後	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
ビジネスライフ学科	140名	280名	115名	230名
こども学科	170名	340名	115名	230名

千葉経済大学短期大学部学則新旧対照表

新（改正後）	旧（改正前）																		
<p>(略)</p> <p>(学科および学生定員)</p> <p>第3条 本学に設置する学科および学生定員は、次のとおりとする。</p> <table border="0" data-bbox="193 539 738 658"> <thead> <tr> <th>学 科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビジネスライフ学科</td> <td><u>115名</u></td> <td><u>230名</u></td> </tr> <tr> <td>こども学科</td> <td><u>115名</u></td> <td><u>230名</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p> <p><u>附 則（令和7年3月25日改正）</u></p> <p><u>1 この学則は、令和7年4月1日から施行する。ただし、改正後の第3条は令和8年度から適用する。</u></p> <p><u>2 令和8年度ビジネスライフ学科の収容定員については、改正後の第3条中、「230名」を「255名」、こども学科の収容定員については、改正後の第3条中、「230名」を「285名」に読み替えて適用する。</u></p> <p><u>3 改正後の別表（1）ならびに別表（2）にかかわらず、令和6年度以前の入学生については、なお従前の学則による。</u></p>	学 科	入学定員	収容定員	ビジネスライフ学科	<u>115名</u>	<u>230名</u>	こども学科	<u>115名</u>	<u>230名</u>	<p>(略)</p> <p>(学科および学生定員)</p> <p>第3条 本学に設置する学科および学生定員は、次のとおりとする。</p> <table border="0" data-bbox="837 539 1383 658"> <thead> <tr> <th>学 科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビジネスライフ学科</td> <td><u>140名</u></td> <td><u>280名</u></td> </tr> <tr> <td>こども学科</td> <td><u>170名</u></td> <td><u>340名</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p>	学 科	入学定員	収容定員	ビジネスライフ学科	<u>140名</u>	<u>280名</u>	こども学科	<u>170名</u>	<u>340名</u>
学 科	入学定員	収容定員																	
ビジネスライフ学科	<u>115名</u>	<u>230名</u>																	
こども学科	<u>115名</u>	<u>230名</u>																	
学 科	入学定員	収容定員																	
ビジネスライフ学科	<u>140名</u>	<u>280名</u>																	
こども学科	<u>170名</u>	<u>340名</u>																	

千葉経済大学短期大学部学則の一部改正新旧対照表

新	旧
---	---

別表(1) ビジネスライフ学科

区 分	授 業 科 目	必修	選択	形態	備 考
(略)					
ベース	(略)				
	生活と地域の多様性		2	講義	
	キャンパス心理学		2	講義	
	自然科学への招待 A		2	講義	
	(略)				
	スポーツ演習 II		2	講義	
	スクーパダイビング		1	実技	
(略)					
キャリアアップ	(略)				
	秘書学 II		2	講義	
	歴史からみる人間の経済 A		2	講義	
	歴史からみる人間の経済 B		2	講義	
	ニュースで学ぶ現代経済 A		2	講義	
(略)					
(略)					

別表(1) ビジネスライフ学科

区 分	授 業 科 目	必修	選択	形態	備 考
(略)					
ベース	(略)				
	生活と地域の多様性		2	講義	
	(略)				
	自然科学への招待 A		2	講義	
	(略)				
	スポーツ演習 II		2	講義	
	キャンパス心理学		2	講義	
スクーパダイビング		1	実技		
(略)					
キャリアアップ	(略)				
	秘書学 II		2	講義	
	歴史からみる人間の経済 I		2	講義	
	歴史からみる人間の経済 II		2	講義	
	ニュースで学ぶ現代経済 A		2	講義	
(略)					
(略)					

別表(2) こども学科

区 分	授 業 科 目	必修	選択	形態	備 考	
(略)						
専門教育	総合科目	(略)				
		ベビーシッターの実務と理論		2	講義	
		小学校フィールド演習		1	演習	
育 科	保育の本質・目的に関する科目	保 育 原 理		2	講義	
		(略)				
目	(略)					
	関ビ す ジ る ネ 科 ス 目 に	(略)				
		ドイツおもちゃ文化論		2	講義	キッズビジネスコースのみ必修
		キッズビジネス実務体験		1	実習	
	キャリアデザイン I		2	講義	キッズビジネスコースのみ必修	
(略)						
(略)						

別表(2) こども学科

区 分	授 業 科 目	必修	選択	形態	備 考	
(略)						
専門教育	総合科目	(略)				
		ベビーシッターの実務と理論		2	講義	
		(略)				
育 科	保育の本質・目的に関する科目	保 育 原 理		2	講義	
		(略)				
目	(略)					
	関ビ す ジ る ネ 科 ス 目 に	(略)				
		ドイツおもちゃ文化論		2	講義	キッズビジネスコースのみ必修
		キッズビジネス・インターンシップ		1	実習	
	キャリアデザイン I		2	講義	キッズビジネスコースのみ必修	
(略)						
(略)						

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

本学のビジネスライフ学科の入学定員を 140 名から 115 名、収容定員を 280 名から 230 名に変更する。

本学のこども学科の入学定員を 170 名から 115 名、収容定員を 340 名から 230 名に変更する。

学科		変更前	変更後
ビジネスライフ学科		入学定員 <u>140</u> 名 収容定員 <u>280</u> 名	入学定員 <u>115</u> 名 収容定員 <u>230</u> 名
こども学科		入学定員 <u>170</u> 名 収容定員 <u>340</u> 名	入学定員 <u>115</u> 名 収容定員 <u>230</u> 名
こども 学科 内 訳	保育コース	入学定員 <u>140</u> 名 収容定員 <u>280</u> 名	入学定員 <u>90</u> 名 収容定員 <u>180</u> 名
	初等教育コース	入学定員 15 名 収容定員 30 名	入学定員 15 名 収容定員 30 名
	キッズビジネスコース	入学定員 <u>15</u> 名 収容定員 <u>30</u> 名	入学定員 <u>10</u> 名 収容定員 <u>20</u> 名
千葉経済大学短期大学部 合計		入学定員 <u>310</u> 名 収容定員 <u>620</u> 名	入学定員 <u>230</u> 名 収容定員 <u>460</u> 名

イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性

令和 5 年度までの学生募集においては、短大全体の入学定員充足率が 90% 台を維持できていたが、社会情勢（18 歳人口の動向、短期大学進学率の変化等）により、令和 6 年度では短大全体 81.9%（ビジネスライフ学科 95.0%、こども学科 71.2%）、令和 7 年度では短大全体 70.0%（ビジネスライフ学科 89.3%、こども学科 54.1%）と定員未達が続いている。

社会情勢の回復も見込まれないことから、本学の入学状況をふまえ、適切な財務、教育環境、質の維持のため、収容定員を変更するものである。

【短大全体】

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
入学定員	340 名	340 名	310 名	310 名
入学者数	306 名	335 名	254 名	217 名
入学定員充足率	90.0%	98.5%	81.9%	70.0%

【ビジネスライフ学科】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入学定員	140名	140名	140名	140名
入学者数	135名	169名	133名	125名
入学定員充足率	96.4%	120.7%	95.0%	89.3%

【こども学科】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入学定員	200名	200名	170名	170名
入学者数	171名	166名	121名	92名
入学定員充足率	85.5%	83.0%	71.2%	54.1%

- ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容  
この度の学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更はない。

## 学生確保の見通しを記載した書類

### 目次

(1) 収容定員を変更する組織の概要 .....	2
①収容定員を変更する組織.....	2
②収容定員を変更する組織の特色.....	2
(2) 人材需要の社会的な動向等 .....	2
①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析 .....	2
②中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析 .....	3
③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域 .....	6
④既設組織の定員充足の状況 .....	8
(3) 学生確保の見通し .....	9
①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果 .....	10
ア 既設組織における取組とその目標 .....	10
イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標.....	11
ウ 当該取組の実績の分析に基づく、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数..	13
②競合校の状況分析.....	13
ア 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性.....	13
イ 競合校の入学志願動向等 .....	16
ウ 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員 未充足の場合のみ） .....	18
エ 学生納付金等の金額設定理由.....	18
③先行事例分析 .....	18
④学生確保に関するアンケート調査.....	18
⑤人材需要に関するアンケート調査等 .....	18
(4) 新組織の定員設定の理由 .....	18

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### (1) 収容定員を変更する組織の概要

#### ①収容定員を変更する組織の概要

名称	入学定員	収容定員	所在地
千葉経済大学短期大学部			千葉県千葉市稲毛区轟町3丁目59番5号
ビジネスライフ学科	115名	230名	
こども学科	115名	230名	
（うち 保育コース）	(90名)	(180名)	
（うち 初等教育コース）	(15名)	(30名)	
（うち キッズビジネスコース）	(10名)	(20名)	
合計	230名	460名	

#### ②収容定員を変更する組織の特色

##### ○ビジネスライフ学科

「片手に論語 片手に算盤」の建学の精神に基づき、社会人としての良識、豊かな想像力、コミュニケーション能力および教養に基づく倫理意識を備えるとともに、経済社会の中核的人材として社会的に自立し、また社会に貢献できる職業人として必要な資質、能力および資格を身に着けた人材を養成している。また職業人として、生涯にわたり学習し、成長し続ける力を養成している。

##### ○こども学科

「片手に論語 片手に算盤」の建学の精神に基づき、社会人としての良識や豊かな想像力、人間理解に基づいた幅広いコミュニケーション能力および教養に基づく倫理意識を備えるとともに、これらを基盤とする実践力と人間性の調和した小学校・幼稚園の教諭、保育士として社会に貢献できる人材を養成している。同時に、人間として、また教諭・保育士として生涯にわたり学習し、成長し続ける力を養成する。

### (2) 人材需要の社会的な動向等

#### ①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分

析

○ビジネスライフ学科

ビジネスライフ学科卒業生の過去5年間（令和2年度から令和6年度）の就職率は【資料1】「ビジネスライフ学科求人数、就職率」のとおりである。平均就職率は97.1%となり、社会からの求人要請に対して、着実な実績を残している。

【資料1】「ビジネスライフ学科求人数、就職率」

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
求人数 ※	805	13058	18334	35864	40602
就職希望者	132	126	130	98	128
就職者数	127	120	126	96	127
就職率	96.2%	95.2%	96.9%	98.0%	99.2%

※令和2年度までは紙ベースの求人件数、令和3年度からキャリアタス UC を導入したことによる求人件数

○こども学科

こども学科卒業生の過去5年間（令和2年度から令和6年度）の就職率は【資料2】「こども学科求人数、就職率」のとおりである。5年連続就職率100.0%を達成しており、社会からの求人要請に対して、着実な実績を残している。

【資料2】「こども学科求人数、就職率」

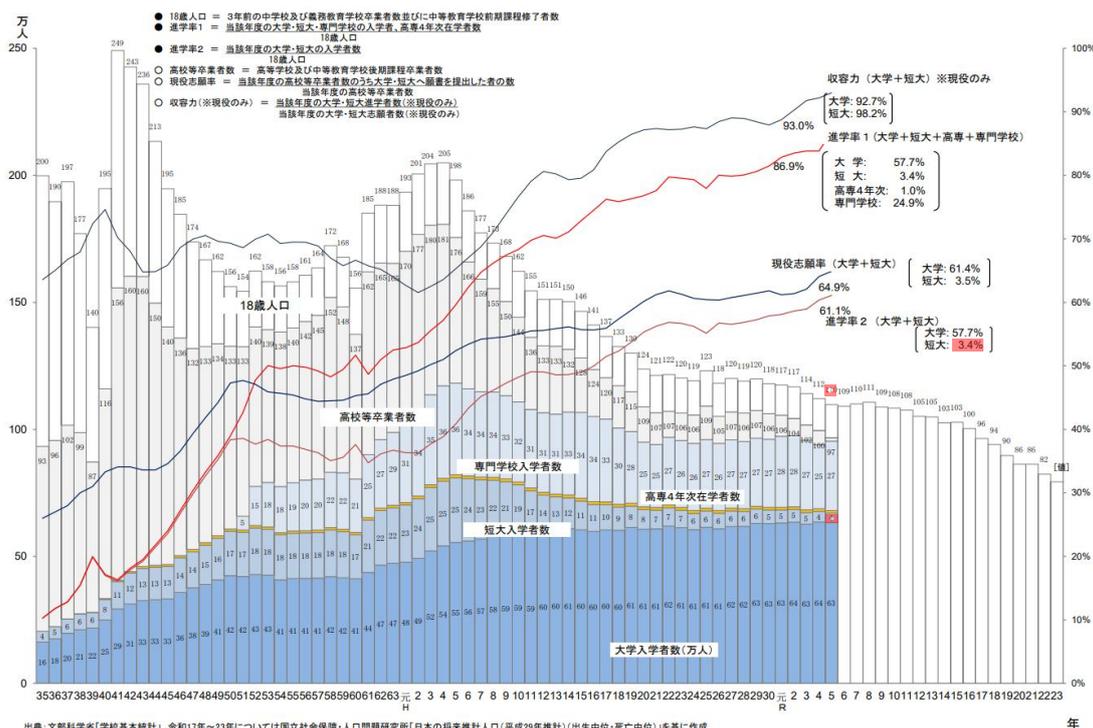
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
求人数	1299	1142	1272	1360	1271
就職希望者	156	150	147	146	136
就職者数	156	150	147	146	136
就職率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

全国的には、【資料3】「18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移」のとおり、令和5（2023）年度の全国の18歳人口110万人のうち、短期大学への入

学者数は4万人、進学率3.4%となり、減少傾向が続いている。また、18歳人口は令和5（2023）年度110万人から令和15（2033）年度103万人と減少する見込みである。

【資料3】「18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移」



出典：文部科学省 学校基本統計

地域的には、【資料4】「進学者数・進学率（現役）の推移（全体：県別：2015年～2024年）」のとおり、令和6（2024）年度千葉県の高校卒業生数43,039人のうち、短期大学への入学者数は969人、進学率2.3%となり、減少傾向が続いている。

【資料4】「進学者数・進学率（現役）の推移（全体：県別：2015年～2024年）」

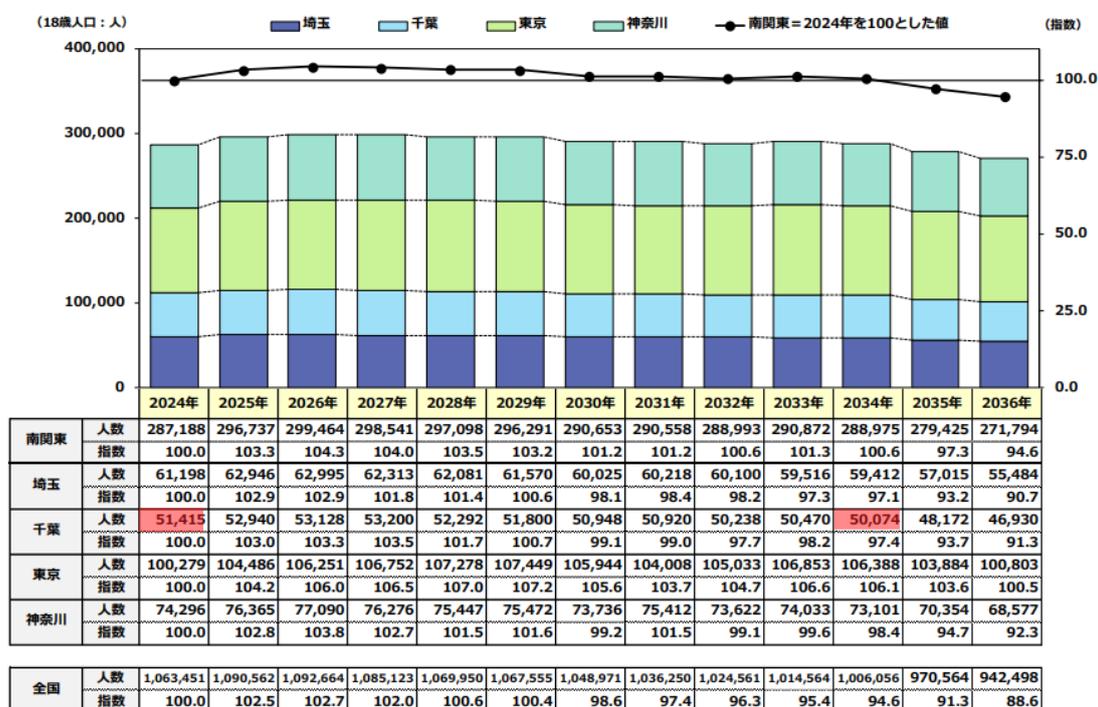
**進学者数・進学率（現役）の推移（全体：県別：2015～2024年）**

		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
埼玉	卒業生数（人）	57,093	57,150	57,262	56,970	56,992	56,643	55,098	54,053	52,446	50,543	
	進学者数（人）	大学	29,860	29,801	30,311	30,037	30,241	30,715	31,214	32,130	32,155	31,792
		短期大学	2,694	2,599	2,542	2,407	2,372	2,286	2,089	1,964	1,608	1,388
		専門学校	9,906	9,791	9,544	9,679	10,139	10,384	10,373	9,705	8,904	8,300
	進学率（%）	大学	52.3	52.1	52.9	52.7	53.1	54.2	56.7	59.4	61.3	62.9
		短期大学	4.7	4.5	4.4	4.2	4.2	4.0	3.8	3.6	3.1	2.7
専門学校		17.4	17.1	16.7	17.0	17.8	18.3	18.8	18.0	17.0	16.4	
千葉	卒業生数（人）	49,065	48,944	49,330	49,149	48,998	48,289	48,202	46,852	45,820	43,039	
	進学者数（人）	大学	25,119	25,390	25,594	25,526	25,256	25,317	26,437	27,354	27,277	26,830
		短期大学	2,011	1,982	1,800	1,770	1,636	1,635	1,539	1,318	1,277	969
		専門学校	9,064	8,734	8,766	8,828	9,352	9,412	9,670	8,980	8,809	7,556
	進学率（%）	大学	51.2	51.9	51.9	51.9	51.5	52.4	54.8	58.4	59.5	62.3
		短期大学	4.1	4.0	3.6	3.6	3.3	3.4	3.2	2.8	2.8	2.3
専門学校		18.5	17.8	17.8	18.0	19.1	19.5	20.1	19.2	19.2	17.6	
東京	卒業生数（人）	101,482	101,558	103,462	102,928	102,864	101,281	100,084	99,854	97,950	94,619	
	進学者数（人）	大学	64,973	65,084	65,931	64,435	65,016	65,530	67,301	69,746	69,918	69,062
		短期大学	2,806	2,536	2,347	2,220	1,986	1,986	1,794	1,637	1,365	1,154
		専門学校	12,024	12,431	12,082	10,851	11,902	12,316	12,317	10,858	10,105	8,852
	進学率（%）	大学	64.0	64.1	63.7	62.6	63.2	64.7	67.2	69.8	71.4	73.0
		短期大学	2.8	2.5	2.3	2.2	1.9	2.0	1.8	1.6	1.4	1.2
専門学校		11.8	12.2	11.7	10.5	11.6	12.2	12.3	10.9	10.3	9.4	
神奈川	卒業生数（人）	65,305	66,037	67,093	66,887	67,219	66,293	65,892	65,331	63,202	60,632	
	進学者数（人）	大学	37,469	37,859	38,440	38,257	38,357	38,113	39,466	41,283	41,487	40,805
		短期大学	2,908	2,787	2,705	2,583	2,455	2,295	2,123	1,858	1,542	1,300
		専門学校	10,663	10,458	10,544	10,593	10,964	11,737	11,546	10,808	9,846	8,858
	進学率（%）	大学	57.4	57.3	57.3	57.2	57.1	57.5	59.9	63.2	65.6	67.3
		短期大学	4.5	4.2	4.0	3.9	3.7	3.5	3.2	2.8	2.4	2.1
専門学校		16.3	15.8	15.7	15.8	16.3	17.7	17.5	16.5	15.6	14.6	

出典：リクルート進学総研「マーケットレポート2024 vol.134 2025年2月号」

また、【資料5】「18歳人口予測（全体：南関東：2024年～2036年）」のとおり、18歳人口は令和6（2024）年度51,415人から令和16（2034）年度50,074人と減少する見込みである。

【資料5】「18歳人口予測（全体：南関東：2024年～2036年）」



出典：リクルート進学総研「マーケットレポート2024 vol.134 2025年2月号」

地域的には恵まれているとはいえ、18歳人口の減少、短期大学への進学率の低下を踏まえると、千葉経済大学短期大学部ビジネスライフ学科、こども学科の入学定員および収容定員を適正化して、充足率の向上を図る必要がある。

### ③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

【資料6】「千葉県内短期大学の出身高校所在地都道府県別の入学者数」のとおり、千葉県内の短期大学の入学者の72.1%（過去5年平均）は千葉県の高専出身者となっている。

【資料6】 「千葉県内短期大学の出身高校所在地都道府県別の入学者数」

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	5年間平均
千葉県	1135	1101	1027	962	747	994.4
	72.7%	73.4%	72.7%	70.6%	71.3%	72.1%
東京都	108	106	126	97	37	94.8
	6.9%	7.1%	8.9%	7.1%	3.5%	6.7%
茨城県	85	60	78	86	48	71.4
	5.4%	4.0%	5.5%	6.3%	4.6%	5.2%
その他	233	233	182	218	216	216.4
	14.9%	15.5%	12.9%	16.0%	20.6%	16.0%
合計	1561	1500	1413	1363	1048	1377
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

出典：文部科学省 学校基本調査

また、【資料7】千葉経済大学短期大学部の出身高校所在地都道府県別の入学者数のとおり、本学の入学者の90.2%（過去5年平均）は千葉県の高等学校出身者となっている。

【資料7】 「千葉経済大学短期大学部の出身高校所在地都道府県別の入学者数」

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	5年間平均
千葉県	297	307	280	299	226	281.8
	88.9%	92.5%	91.5%	89.3%	89.0%	90.2%
東京都	4	7	2	2	6	4.2
	1.2%	2.1%	0.7%	0.6%	2.4%	1.4%
茨城県	9	5	9	11	10	8.8
	2.7%	1.5%	2.9%	3.3%	3.9%	2.9%
その他	24	13	15	23	12	17.4
	7.2%	3.9%	4.9%	6.9%	4.7%	5.5%
合計	334	332	306	335	254	312.2
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

出典：本学

以上のことから、入学者の90%が千葉県、5%が隣接する東京都、茨城県、残りの5%がその他の地域になると見込んでいる。

#### ④既設組織の定員充足の状況

##### ○ビジネスライフ学科

【資料8】「千葉経済大学短期大学部 ビジネスライフ学科の入学定員充足率」、【資料9】「千葉経済大学短期大学部 ビジネスライフ学科の収容定員充足率」によると、令和3年度から6年度まで、入学定員充足率は95.0%～120.7%、収容定員充足率は106.4%～113.2%と高水準を保っていたが、令和6年度、7年度と連続して入学者が減少した。18歳人口の減少、短大離れの影響が顕著となってきており、令和7年度においては入学定員充足率87.1%、収容定員充足率92.9%と予断を許さない状況となっている。

【資料8】「千葉経済大学短期大学部 ビジネスライフ学科の入学定員充足率」

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入学志願者数	166	139	172	136	124
(うち推薦志願者数)	127	80	167	134	116
受験者数	166	138	171	135	124
合格者数	162	138	171	135	124
入学手続き者数	162	136	170	133	122
入学者数	160	135	169	133	122
(うち推薦入学者数)	126	80	166	132	116
入学定員	140	140	140	140	140
入学定員充足率	114.3%	96.4%	120.7%	95.0%	87.1%

出典：本学

【資料9】「千葉経済大学短期大学部 ビジネスライフ学科の収容定員充足率」

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学生数	317	298	304	307	260
収容定員数	280	280	280	280	280
収容定員充足率	113.2%	106.4%	108.6%	109.6%	92.9%

出典：本学

##### ○こども学科

【資料10】「千葉経済大学短期大学部 こども学科の入学定員充足率」、【資料11】「千葉経済大学短期大学部 こども学科の収容定員充足率」によると、

令和3年度から5年度まで、入学定員充足率は83.0%～86.0%、収容定員充足率は85.3%～87.3%と一定水準を保っていた。毎年入学者が減少していたため、令和6年度に入学定員を200名から170名に削減したが、18歳人口の減少、短大離れが顕著となってきており、令和7年度の入学定員充足率49.4%、収容定員充足率61.2%と厳しさが増している。収容定員充足率が0.7倍未満となるが、こども学科に関しては、前述した18歳人口の減少、短大離れに加えて、就職先である「保育業界」の就業環境が他業界と比較すると厳しいことが要因となっている。保育業界の社会的意義、必要性に疑いはないものの、高校生の進学需要に結びついていないことが定員充足率に表れており、現在の充足率をもとに入学定員を170名から110名に変更し、充足率の適正化を図るものである。

【資料10】「千葉経済大学短期大学部 こども学科の入学定員充足率」

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
入学志願者数	174	177	170	126	87
(うち推薦志願者数)	127	112	167	118	81
受験者数	174	177	169	125	86
合格者数	174	175	169	124	86
入学手続き者数	172	172	166	122	84
入学者数	172	171	166	121	84
(うち推薦入学者数)	127	112	163	117	80
入学定員	200	200	200	170	170
入学定員充足率	86.0%	85.5%	83.0%	71.2%	49.4%

出典：本学

【資料11】「千葉経済大学短期大学部 こども学科の収容定員充足率」

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
学生数	349	346	341	286	208
収容定員数	400	400	400	370	340
収容定員充足率	87.3%	86.5%	85.3%	77.3%	61.2%

出典：本学

### (3) 学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

○特定指定校の導入（令和7年度入試から）

従前の指定校の中から特に本学への志願者数が多い高校に関して、特定指定校として扱い、入試区分によらず受験料無料、指定校枠数の制限なしの優遇措置を講じる。

・特定指定校の基準

①令和6年度入試において志願者数が3名以上の高校…23校

②令和4年度から6年度までの3カ年において、合計志願者数が5名以上の高校…45校

○こども学科保育コース

令和7年度入試より、【資料12】「令和7年度離職者等再就職訓練」のとおり、千葉県が実施している離職者等再就職訓練による長期高度人材育成コースによる受講生の受入をしている。令和7年度実績で7名の入学者があった。

【資料12】「令和7年度離職者等再就職訓練」

**CHIBA**  
**令和7年度 離職者等再就職訓練**  
千葉県が民間教育訓練機関に委託して実施する、再就職のための公共職業訓練です。

**長期高度人材育成コース** 資格取得・正社員就職が目的の2年コース

**4月開講 受講生募集案内** 

**介護福祉士 6コース37名**  
**保育士 10コース85名**  
**美容師 1コース 5名**

**受講料無料**  
テキスト代、健康診断料等は自己負担

テクノスクール内で実施する1年間等の訓練の案内もあります。

募集期間	令和7年2月3日(月)～3月3日(月)
選考日	令和7年3月10日(月)～3月17日(月) の間で訓練施設の指定する日 <small>各学校の選考方法、選考日程はコース詳細をご確認ください。</small>
合格発表日	令和7年3月19日(水) 発送 <small>結果は、応募者全員に郵送で連絡します。電話でのお問い合わせには応じられません。</small>
受講手続日	合格発表後、入校日までの間で、取扱テクノスクールの指定する日 <small>日時・場所は、合格発表通知にてご案内します。[コース詳細に予定日を記載しています。] 受講手続日に出席できない場合は訓練を受講できませんのでご注意ください。</small>
訓練期間	令和7年4月～令和9年3月(2年間) <small>入校日は訓練施設により異なります。コース詳細をご確認ください。</small>

お申し込みは住所を管轄するハローワークの職業相談窓口へ！

	所名	電話番号	所名	電話番号	所名	電話番号
お申し込み連絡先	千葉	043-242-1181 <small>(部門コード 42 番)</small>	木更津	0438-25-8609 <small>(部門コード 41 番)</small>	松戸	047-367-8609 <small>(部門コード 43 番)</small>
	千葉南	043-300-8609 <small>(部門コード 42 番)</small>	佐原	0478-55-1132	野田	04-7124-4181
	市川	047-370-8609 <small>(部門コード 42 番)</small>	茂原	0475-25-8609	船橋	047-420-8609 <small>(部門コード 42 番)</small>
	鎌子	0479-22-7406	いすみ	0470-62-3551	成田	0479-69-1700 <small>(部門コード 41 番)</small>
	館山	0470-22-2236				

訓練カリキュラムの詳細等 → 各訓練施設へ(連絡先はコース詳細に記載)

雇用保険や、求職者支援法による職業訓練受講給付金について  
 → 住所を管轄するハローワークへ

その他、訓練全般について  
 → 各取扱テクノスクール(P.14参照)または千葉県産業人材課(P.16)へ

訓練内容の詳細は千葉県HPへ URL: <https://www.pref.chiba.lg.jp/sarjin/index.html>

出典：千葉県 HP

## イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標

広報戦略のブラッシュアップ、コンサルティング依頼、外部組織との連携、千葉経済学園内での連携等、学生募集が順調だった時代から手つかずの課題が多くあることから、それらを改善することにより一定の向上は可能と考える。一方、少子化、短大離れといった外部要因は楽観視できるものではないため、現実的な定員数への削減を図り、最低限定員充足を目標とするものである。

### ○WEB マーケティング強化

ピンポイントに対象者への訴求力を高めるため、従来の広告からの強化をはかる。

- ・リクルート スタディサプリ進路内 ターゲティングバナー広告
- ・マイナビ 進学サイト内 イベント検索ターゲティングバナー広告
- ・JS コーポレーション 日本の学校サイト内ポップアップ広告
- ・キャリアタス 志望校ターゲティング広告、LINE 広告、Google リスティング広告
- ・Instagram オープンキャンパス等の告知広告
- ・アローコーポレーション 位置情報広告 allow Geo

### ○コンサルティングによる分析・運用

従前の業務を見直し、コンサルティング業者（キャリアタス）による分析・運用をはかる。

- ・接触者情報分析
- ・HP 分析
- ・LINE 代行配信
- ・LINE 連携スクールプレミア導入

### ○こども学科初等教育コース

千葉県教育委員会との提携を強化していく。

### ○ビジネスライフ学科

日本語学校からの留学生受入れを検討する。

### ○千葉経済大学附属高校からの進学者増への働きがけの強化

【資料13】「千葉経済大学附属高等学校生徒数」のとおり、千葉経済大学附属高等学校は千葉県内でも有数の規模を誇っている。

【資料 1 3】 「千葉経済大学附属高等学校生徒数」

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
普通科 1 年	314	282	323	445	373
普通科 2 年	326	306	264	313	428
普通科 3 年	309	315	298	257	300
普通科計	949	903	885	1015	1101
商業科 1 年	100	103	116	141	133
商業科 2 年	121	98	100	112	136
商業科 3 年	138	118	97	97	110
商業科計	359	319	313	350	379
情報処理科 1 年	195	206	200	192	131
情報処理科 2 年	165	187	200	195	190
情報処理科 3 年	125	159	184	193	191
情報処理科計	485	552	584	580	512
合計 1 年	609	591	639	778	637
合計 2 年	612	591	564	620	754
合計 3 年	572	592	579	547	601
総合計	1793	1774	1782	1945	1992

出典：本学

例年約 600 人の卒業予定者がいることから、足元に安定供給源があることとなり、今まで以上に内部進学働きかけを強化していく。特筆すべき事項として、短期大学部学長が附属高校校長を兼務していることから、従来からあった大学、短大、高校の「三者連携」を「三者連結」と改め、強力なリーダーシップのもとでの実行性が担保されることである。また、附属高校生徒・父兄へのインセンティブとして、下記の優遇措置を実施していく。

- ・千葉経済大学短期大学部への「附属高校推薦」は「総合型選抜第 1 期」に移行して実施—入学を強く希望して勉学意欲のある専願者は、評定値は不問として学校長の推薦書は不要とする。受験料の 3 万円を免除、入学金全額 30 万円を免除
- ・千葉経済大学短期大学部の受験者で、学習成績 4.0 以上の生徒は、入学年次の授業料 65 万円を免除

○県内私立高校の校長・進路指導部に対する本学への進学指導の要請

前述の校長が千葉県私立中学高等学校協会元会長（現顧問）であることから、県内私立高校校長、進路指導部へトップセールスをする。

対象校は、県内私立高校（不二女子、京葉、桜林、千葉明德、植草大学附属、

千葉聖心、茂原北稜、拓殖大学紅陵、木更津総合、横芝敬愛、八日市場敬愛、千葉萌陽、東京学館、東京学館浦安、東京学館船橋、千葉学芸、安房西、千葉英和、八千代松陰等)となる。

○学園教職員による推薦

学園教職員が一致団結のうえ短大学生募集に結びつけるため、教職員による推薦者に対して、受験料3万円を免除する。

ウ 当該取組の実績の分析に基づく、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数

届出時点でのオープンキャンパスの出席者は、前年同時期との比較で増加傾向にある。

○ビジネスライフ学科 令和6年度101名⇒令和7年度122名 前年比120.8%

○こども学科 令和6年度96名⇒令和7年度109名 前年比113.5%

募集活動の序盤から新たな取組の効果が出ており、ビジネスライフ学科入学定員115名、こども学科入学定員115名の確保を見込んでいる。

②競合校の状況分析

ア 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性

○ビジネスライフ学科

競合校に関しては、千葉県内の短期大学の入学者の72.1%(過去5年平均)は千葉県の高専出身者であること、千葉経済大学短期大学部の90.2%(過去5年平均)は千葉県の高専出身者となっていることから、地域的には千葉県内のビジネス系の短大となる。以上の条件を満たす短大として、昭和学院短期大学(千葉県市川市)人間生活学科を選定した。なお、人間生活学科はキャリア創造専攻とこども発達専攻から構成されているが、類似性はキャリア創造専攻のみとなるため、同専攻を抽出して比較した。

本学の優位性のひとつは、【資料14】「取得可能な資格」のとおり、学生の目指す将来に向けて取得できる資格が多岐に渡っており、その数は専門学校数校分に匹敵している。

## 【資料14】「取得可能な資格」

 <b>司書</b> 図書館において、情報を収集・整理するプロフェッショナルです。	 <b>ニュース時事能力検定</b> 新聞やテレビの時事用語を学び、活用できる力を養って、認定する検定です。	 <b>医療事務技能審査試験 (メディカルクラーク)</b> 診療報酬請求業務や受付業務で求められる患者接遇の能力を評価する試験です。	 <b>医師事務作業補助技能認定試験 (ドクターズクラーク)</b> 勤務医の負担軽減のため、その事務作業の補助を行う能力を証明する試験です。
 <b>国内旅行業務取扱管理者</b> ツアーや団体旅行に同行する添乗員に取得が義務づけられている資格です。	 <b>実用英語技能検定</b> 英語が必要とされる分野はもちろん、一定級の取得者は就活でも有利です。	 <b>TOEIC</b> 英語が必要とされる分野はもちろん、よいスコアを取れば就活で評価され有利となります。	 <b>証券外務員</b> 金融機関で株式や債券などを売買する仕事に就く方に必須の資格です。
 <b>ファイナンシャル・プランニング技能検定</b> 金融の幅広い知識を備え、相談者の夢がかんようサポートする専門家です。	 <b>MOS(マイクロソフトオフィススペシャリスト)</b> エクセルやワードなどの利用スキルを証明できる国際資格です。	 <b>ウェブデザイン技能検定</b> Webサイトをデザインできるようになります。セキュリティ対策なども身につけます。	 <b>Webクリエイター能力検定</b> HTML等の基本的知識のほか、ホームページの作成能力やデザイン能力が身につきます。
 <b>ITパスポート</b> 社会でIT(情報技術)を活用するための知識を証明する国家資格です。	 <b>Photoshopクリエイター能力検定</b> 画像の編集や加工を通じてコンテンツを作る能力が身につきます。	 <b>Illustratorクリエイター能力検定</b> DTP(デスクトップパブリッシング)やWebで求められるデザイン技術に関する能力が身につきます。	 <b>日商PC検定</b> ビジネスシーンでパソコンを使いこなすスキルの証明となる検定です。
 <b>個人情報保護士認定試験</b> ビジネスにおいて個人情報と無縁の企業はありません。情報管理の知識を証明する試験です。	 <b>日商簿記検定</b> 企業の経営活動を計算・整理して、経営と財政状態を明らかにする技能です。	 <b>会計ソフト(実務能力試験)</b> 企業における会計ソフトの習得を目指した検定試験です。	 <b>コンピューター会計(能力検定試験)</b> 企業で実際に利用しているパソコンを用いた会計の検定試験です。
 <b>パーソナルカラー検定</b> 色彩や配色を学ぶことは、ファッションやブライダル業等の仕事に役立ちます。	 <b>ブライダルコーディネーター技能検定</b> 結婚式において質の高いサービスを提供するための知識を証明する検定です。	 <b>ファッションビジネス能力検定</b> ファッションの専門知識とスキルを習得してアパレル業界を目指します。	 <b>ファッション販売能力検定</b> 基本的な商品知識や販売基本知識、接客基本技術などを測る検定です。
 <b>A. F. T色彩検定</b> 色の基礎、配色技法によるイメージの表現など、理論の土台を学習します。	 <b>着付け</b> 和の文化・着付け技術の証明は、社会人の素養を高めます。	 <b>華道</b> 生け花を通して、伝統文化に親しみながら礼儀や姿勢、あしらいなどの所作を身につけます。	 <b>茶道</b> お茶の点前を通し、伝統文化やおもてなしの心など、社会人として必要な知識を学びます。
 <b>秘書技能検定</b> ビジネス場面ではもちろん、日常業務の効率化にも有効な検定です。	 <b>ビジネス文書検定</b> ビジネスに使用する文書の作成に必要な知識や技能を評価する検定です。	 <b>ビジネス実務マナー検定</b> 社会人として適切な行動、マナー、話し方が身についているかを証明することができます。	 <b>サービス接遇検定</b> 接客応対の知識・技能を評価する検定試験です。実践的なスキルが試されます。

出典：本学 HP

さらに、併設の千葉経済大学の科目を履修可能であることである。一般教養や資格取得支援講座など、千葉経済大学の100科目以上がビジネスライフ学科の学生に開放されている。大学との単位互換制度、受講可能科目の一例は、心理学、博物館概論、考古学、現代文化論、社会心理学、ボランティア・NPO論、ビジネス英語、中国語、公務員講座、公務員答練、宅建講座、ベンチャー

起業論、外書購読など一般教養や資格取得支援講座などとなる。

## ○こども学科

競合校に関しては、千葉県内の短期大学の入学者の72.1%（過去5年平均）は千葉県の上高等学校出身者であること、千葉経済大学短期大学部の90.2%（過去5年平均）は千葉県の上高等学校出身者となっていることから、地域的には千葉県内の保育系の短大となる。以上の条件を満たす短大として、敬愛短期大学（千葉市稲毛区）現代子ども学科、千葉明德短期大学（千葉市中央区）保育創造学科を選定した。

本学の優位性は、こども学科において、保育コース、初等教育コース、キッズビジネスコースと細分化した特色ある教育を実施していることである。

### ・保育コース

#### 1. 教員全員で一人ひとりに向き合う

理論派から現場経験豊富な教員まで、個性豊かな教員が揃っている。「相談教員」や「支援教員」だけでなく、全ての教員で学生をサポートしている。。

卒業後何年経っても、いつでも相談できる先生が待っている。

#### 2. それぞれが自由に イキイキと

ボランティア活動やサークル活動など、学生それぞれが色々な事にチャレンジできる校風である。限られた友人関係だけではなく、こども学科の3つのコース、ビジネスライフ学科、千葉経済大学の学生など、多様な学生たちと関わる機会がある。

#### 3. 一人ひとりに応じた手厚い就職サポート

教育・保育現場への就職に特化したキャリアセンターを設置している。保育職から一般職志望に切り替えても対応可能で、ビジネスライフ学科がある本学だからこそ、一般就職のサポートも充実。どんな進路でも、学生をサポートする。

### ・初等教育コース

#### 1. 小学校免許が2年で取得できる唯一の短大

教育現場で腕を磨いた指導力のある教員による、教師力・実践力を培う授業が充実している。幼稚園の教員免許も2年間で取得できる。教育実習は、小学校、幼稚園のどちらか一方で行っている。

#### 2. 小学校教員採用試験に特別推薦枠

千葉県の公立教員採用試験の特別推薦枠や、東京都・京都市・長崎県などからの推薦枠がある。(昨年実績)。様々な授業や本学独自の「教員採用試験対策講座」も充実しており、採用試験に向けた手厚いサポートが受けられる。

### 3. 多様な仲間と共に同じ道を目指す

高校を卒業したばかりの学生もいれば、社会人経験を積んで教師を目指す学生、他大学を卒業してから教職を志す学生など、実に様々である。同じ志を持つ仲間と互いに刺激し合いながら、日々切磋琢磨している。

#### ・キッズビジネスコース

#### 1. 子どもに関する専門的な知識・教養を深める

子どもの発達心理などの専門的な理解を深め、社会の様々な人たちと心を通わせ、信頼関係を築く人間性を育む。教育実習や保育実習は行わない。

#### 2. ビジネスライフ学科や千葉経済大学でビジネスについての専門性を磨く

ビジネスライフ学科や千葉経済大学の科目を履修し、ビジネスパーソンとしての資質を磨く。取得したビジネス系の資格を活かし社会貢献ができる。また、千葉経済大学への「特別編入学制度」がある。

#### 3. 子ども・子育てに関わる多様な業種でのスペシャリストを目指す

子ども服・おもちゃ・医療・スポーツ分野・司書等の子ども・子育てに関わる業種での活躍が期待される。子どもに関する知識とビジネススキルを併せ持ったスペシャリストを目指す。

## イ 競合校の入学志願動向等

### ○ビジネスライフ学科

競合校の入学志願動向については、【資料15】「ビジネスライフ学科競合校の入学志願動向等」に示すとおりである。千葉県内7短大のうち、ビジネス系の学科を持つのは本学と昭和学院短期大学のみであるためサンプル数としては少ないが、入学定員を満たしている。

【資料15】「ビジネスライフ学科競合校の入学志願動向等」

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
昭和学院短期大学 人間生活学科 キャリア創造専攻	志願者数	-	-	-
	受験者数	-	-	-
	合格者数	-	-	-
	入学者数	35	36	38
	入学定員	30	30	30
	入学定員充足率	116.7%	120.0%	126.7%

出典：昭和学院短期大学 事業報告書

○こども学科

競合校の入学志願動向については、【資料16】「こども学科競合校の入学志願動向等」に示すとおりである。

【資料16】「こども学科競合校の入学志願動向等」

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
敬愛短期大学 現代子ども学科	志願者数	-	-	-
	受験者数	-	-	-
	合格者数	-	-	-
	入学者数	152	129	160
	入学定員	150	150	150
	入学定員充足率	101.3%	86.0%	106.7%

出典：敬愛短期大学 HP

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
千葉明德短期大学 保育創造学科	志願者数	-	-	-
	受験者数	-	-	-
	合格者数	-	-	-
	入学者数	123	93	83
	入学定員	120	120	120
	入学定員充足率	102.5%	77.5%	69.2%

出典：学校法人千葉明德学園 事業報告書

敬愛短期大学については、令和6年度にキャンパス移転、新校舎建築の効果から入学定員充足率が100%を超えている。千葉明德短期大学については、

本学同様に定員確保に苦戦している。さらに、同じく千葉市内の植草短期大学  
こども未来学科が令和 5 年度をもって募集停止するなど、短大離れ、保育士  
離れの傾向が続いていることは否めない。

ウ 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等（競合校定員未  
充足の場合のみ）

○こども学科

令和 7 年度入学者 84 名、入学定員充足率 49.4%が本学に突き付けられた現  
実的な数値であり、楽観的な見込での定員数変更では実効性が無いことは明  
らかであることから、170 名から 115 名と 55 名減の大幅な変更へ踏み切っ  
た。

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果－イ 収容定員を変更  
する組織における取組とその目標に記載のとおり、手つかずのままの改善事  
項が課題として見えていることから、定員確保は可能と考えている。

エ 学生納付金等の金額設定理由

令和 3 年度に改定後、現在に至っている。競合校との比較で、教育環境、特  
色とは違い、具体的に数値で比較できる事項であることから、収支状態に合わ  
せた改定は難しくなっている。

③先行事例分析

既設組織を廃止して新設組織を設置する場合ではないため、該当なし。

④学生確保に関するアンケート調査

収容定員学則変更届のため、アンケートは実施していない。

⑤人材需要に関するアンケート調査等

収容定員学則変更届のため、アンケート調査は実施していない。

（４）新組織の定員設定の理由

○ビジネスライフ学科

ビジネスライフ学科への求人数、就職率から判断すると、本学科への社会的

な人材育成、輩出への要請に変わりはなく、むしろ高まっている状況である。その一方で、18歳人口の減少、短大への進学率の低下を踏まえると、現行の入学定員、収容定員を充足することは情勢的に厳しい状況である。さらに、高等教育の修学支援新制度の機関要件として、収容定員充足率8割を満たさない場合、対象機関として認められない基準となる。本学科の同制度受給者は、令和5年度40名（在籍者の13%）、令和6年度33名（在籍者の11%）となり、将来的に一定数の高校生の就学の機会を奪うことになりかねない。

以上のことから、入学定員を140名から115名、収容定員を280名から230名に変更する定員充足率の適正化により本学科の存続を図るものである。

#### ○こども学科

こども学科への求人数、就職率から判断すると、本学科への社会的な人材育成、輩出への要請は、継続的かつ一定数存続している状況である。

その一方で、18歳人口の減少、短大への進学率の低下、保育士離れの傾向を踏まえると、現行の入学定員、収容定員を充足することは情勢的に厳しい状況である。さらに、前述の高等教育の修学支援新制度における本学科の受給者は、令和5年度36名（在籍者の11%）、令和6年度34名（在籍者の12%）となり、将来的に一定数の高校生の就学の機会を奪うことになりかねない。

以上のことから、入学定員を170名から115名、収容定員を340名から230名に変更する定員充足率の適正化により本学科の存続を図るものである。

## 新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

	都道府県名	人数	構成比
1	千葉県	747人	71.3%
2	東京都	82人	7.8%
3	茨城県	48人	4.6%
4	埼玉県	37人	3.5%
5	神奈川県	11人	1.0%
	全体	1,048人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合や収容定員の増加に係る学則変更認可申請の場合に作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	千葉県	87.23%	83.40%	71.72%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
1	社会系学科（短大）	81.38%	78.03%	78.84%
2	教育系学科（短大）	73.96%	68.36%	63.66%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2-1

大学学部学科等名：千葉経済大学短期大学部 ビジネスライフ学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	30人	30人	30人	30人	30人	30人	
	延べ人数	志願者数	60人	37人	52人	53人	39人	48人
		受験者数	60人	37人	51人	53人	38人	48人
		合格者数	59人	33人	51人	51人	38人	46人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	2人	0人	1人	1人
	実人数	志願者数	60人	37人	52人	53人	39人	48人
		受験者数	60人	37人	51人	53人	38人	48人
		合格者数	59人	33人	51人	51人	38人	46人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	2人	0人	1人	1人
	入学者数	59人	32人	49人	51人	37人	46人	
	学校推薦型選抜	募集人数	100人	100人	100人	100人	90人	98人
		延べ人数	志願者数	92人	127人	80人	116人	94人
受験者数			92人	127人	80人	116人	94人	102人
合格者数			92人	127人	80人	116人	94人	101.8
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0
辞退者数			0人	0人	0人	1人	0人	0.2
実人数		志願者数	92人	127人	80人	116人	94人	101.8
		受験者数	92人	127人	80人	116人	94人	101.8
		合格者数	92人	127人	80人	116人	94人	101.8
		うち追加合格者数	0人	0人	80人	116人	0人	39.2
		辞退者数	0人	1人	0人	1人	0人	0.4
入学者数		92人	126人	80人	115人	94人	101.4	
一般選抜		募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10
		延べ人数	志願者数	14人	2人	3人	5人	2人
	受験者数		13人	2人	3人	4人	2人	4.8
	合格者数		11人	2人	3人	4人	2人	4.4
	うち追加合格者数		0人	0人	3人	3人	0人	1.2
	辞退者数		1人	0人	1人	0人	2人	0.8
	実人数	志願者数	14人	2人	3人	5人	2人	5.2
		受験者数	13人	2人	3人	4人	2人	4.8
		合格者数	11人	2人	3人	4人	2人	4.4
		うち追加合格者数	0人	0人	3人	3人	0人	1.2
		辞退者数	1人	0人	1人	0人	2人	0.8
	入学者数	10人	2人	2人	3人	0人	3.4	
	共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!
		延べ人数	志願者数					
受験者数								#DIV/0!
合格者数								#DIV/0!
うち追加合格者数								#DIV/0!
辞退者数								#DIV/0!
実人数		志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
入学者数							#DIV/0!	
その他の特別選抜		募集人数						#DIV/0!
		延べ人数	志願者数					
	受験者数							#DIV/0!
	合格者数							#DIV/0!
	うち追加合格者数							#DIV/0!
	辞退者数							#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数						#DIV/0!	
	合計	募集人数	140人	140人	140人	140人	130人	138人
		延べ人数	志願者数	166人	166人	135人	174人	135人
受験者数			165人	166人	134人	173人	134人	154人
合格者数			162人	162人	134人	171人	134人	153人
うち追加合格者数			0人	0人	3人	3人	0人	1人
辞退者数			1人	1人	3人	1人	3人	2人
実人数		志願者数	166人	166人	135人	174人	135人	155人
		受験者数	165人	166人	134人	173人	134人	154人
		合格者数	162人	162人	134人	171人	134人	153人
		うち追加合格者数	0人	0人	83人	119人	0人	40人
		辞退者数	2人	2人	3人	1人	3人	2人
入学者数		161人	160人	131人	169人	131人	150人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	140人	140人	140人	140人	140人	140
入学定員充足率	1.15	1.14	0.94	1.21	0.94	1.07
歩留率	0.99	0.99	0.98	0.99	0.98	0.99

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）

別紙2-2

大学学部学科等名：千葉経済大学短期大学部 こども学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	110人	90人	90人	70人	50人	82人	
	延べ人数	志願者数	102人	44人	60人	48人	48人	60人
		受験者数	101人	44人	60人	47人	48人	60人
		合格者数	95人	43人	59人	49人	47人	59人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	47人	0人	9人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	102人	44人	60人	48人	48人	60人
		受験者数	101人	44人	60人	47人	48人	60人
		合格者数	95人	43人	59人	49人	47人	59人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	47人	0人	9人
		辞退者数	0人	0人	2人	0人	0人	0人
	入学者数	95人	43人	57人	47人	47人	58人	
	学校推薦型選抜	募集人数	75人	100人	100人	125人	115人	103人
		延べ人数	志願者数	70人	127人	112人	117人	69人
受験者数			70人	127人	112人	117人	69人	99人
合格者数			70人	127人	112人	117人	69人	99
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0
辞退者数			0人	0人	0人	1人	0人	0.2
実人数		志願者数	70人	127人	112人	117人	69人	99
		受験者数	70人	127人	112人	117人	69人	99
		合格者数	70人	127人	112人	117人	69人	99
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0.2
入学者数		70人	127人	112人	116人	69人	98.8	
一般選抜		募集人数	15人	10人	10人	5人	5人	9
		延べ人数	志願者数	8人	3人	5人	3人	8人
	受験者数		8人	3人	5人	3人	7人	5.2
	合格者数		8人	2人	4人	3人	7人	4.8
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0
	辞退者数		0人	0人	2人	0人	7人	1.8
	実人数	志願者数	8人	3人	5人	3人	8人	5.4
		受験者数	8人	3人	5人	3人	7人	5.2
		合格者数	8人	2人	4人	3人	7人	4.8
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0
		辞退者数	0人	0人	2人	0人	7人	1.8
	入学者数	8人	2人	2人	3人	0人	3	
	共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!
		延べ人数	志願者数					
受験者数								#DIV/0!
合格者数								#DIV/0!
うち追加合格者数								#DIV/0!
辞退者数								#DIV/0!
実人数		志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
入学者数							#DIV/0!	
その他の特別選抜		募集人数						#DIV/0!
		延べ人数	志願者数					
	受験者数							#DIV/0!
	合格者数							#DIV/0!
	うち追加合格者数							#DIV/0!
	辞退者数							#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数						#DIV/0!	
	合計	募集人数	200人	200人	200人	200人	170人	194人
		延べ人数	志願者数	180人	174人	177人	168人	125人
受験者数			179人	174人	177人	167人	124人	164人
合格者数			173人	172人	175人	169人	123人	162人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	47人	0人	9人
辞退者数			0人	0人	3人	1人	7人	2人
実人数		志願者数	180人	174人	177人	168人	125人	165人
		受験者数	179人	174人	177人	167人	124人	164人
		合格者数	173人	172人	175人	169人	123人	162人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	47人	0人	9人
		辞退者数	0人	0人	4人	1人	7人	2人
入学者数		173人	172人	171人	166人	116人	160人	

3. 入学定員充足率

	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	平均
入学定員	200人	200人	200人	200人	170人	194
入学定員充足率	0.87	0.86	0.86	0.83	0.68	0.82
歩留率	1.00	1.00	0.98	0.98	0.94	0.98

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：ビジネスライフ学科 オープンキャンパス

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	253人	234人	①取組概要：年間13回程度の土、日に受験生、父兄を対象とするオープンキャンパスを実施している。内容としては、学科説明、体験授業、入試・学費説明、キャンパスツアー、ランチ体験、個別面談と多岐に渡っている。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 現時点で受験対象者(b)は昨年度同時期比で120.8%と増加している。昨年度(b)187人×120.8%×入学率52.4%=117名と予想される。
うち受験対象者数(b)	207人	187人	
うち受験者数(c)	118人	101人	
うち入学者数(d)	118人	98人	
(受験率 c/b)	57.0%	54.0%	
(入学率 d/b)	57.0%	52.4%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：こども学科 オープンキャンパス

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	185人	198人	①取組概要：年間13回程度の土、日に受験生、父兄を対象とするオープンキャンパスを実施している。内容としては、学科説明、体験授業、入試・学費説明、キャンパスツアー、ランチ体験、個別面談と多岐に渡っている。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 現時点で受験対象者(b)は昨年度同時期比で113.5%と増加している。昨年度(b)146人×113.5%×入学率46.6%=76名と予想される。
うち受験対象者数(b)	160人	146人	
うち受験者数(c)	93人	71人	
うち入学者数(d)	92人	68人	
(受験率 c/b)	58.1%	48.6%	
(入学率 d/b)	57.5%	46.6%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R5年度入試	R6年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	サクマ カツヒコ 佐久間 勝彦	81	修士（教育学）		千葉経済大学短期大学部学長 (平成10年4月)

## 理事会議事録（抜粋）

- 1 開催日時 令和7年3月25日（火）午後2時30分
- 2 開催場所 千葉経済学園理事長室
- 3 理事現在数 11人（定数10人以上13人以内／寄附行為第5条第1項第1号）
- 4 出席理事数 11人  
佐久間 勝彦、佐久間 美羊、吉田 悦教、山浦 裕幸、  
影山 美佐子、上田 紘士、磐城 博司、平林 隆  
（書面回答によるみなし出席者）  
淡路 睦、綿貫 弘一、佐川八重子
- 5 出席監事 青柳 俊一、植松 省自
- 6 議題 （1）～（6）省略  
（7）千葉経済大学短期大学部学則の改正について  
（8）～（12）省略
- 7 議案 （1）～（6）省略  
（7）千葉経済大学短期大学部学則の改正（案）  
（8）～（12）省略

### 8 審議経過及び結果

午後2時30分、出席者（みなし出席理事3名を含む。以下同じ。）11名で寄附行為第16条第8項の定足数に達したので、同条第6項の規定により、佐久間 勝彦理事長が議長となり、開会を宣言し、寄附行為第18条第2項に規定する議事録署名人として、吉田 悦教及び平林 隆の理事2名が互選された。議案審議に先立ち、吉田 悦教 常任理事より学園役員及びその親族が学園と利害関係を有する契約を結んでいる事実はない旨の確認が行われた後、佐久間 勝彦 理事長より挨拶があった。

審議経過及び結果は、次のとおりである。

（1）～（6）省略

(7) 千葉経済大学短期大学部の学則の改正について（議案7号）

議長の指名により、吉田悦教 常任理事から、別添7「千葉経済大学短期大学部学則の一部改正について（案）」及び「千葉経済大学短期大学部学則の一部改正新旧対照表」に基づき、学則を改正したい旨の説明が行われた。議長が承認の可否について諮ったところ、出席理事（みなし出席を含む。）全員異議なく承認し、本件を議決した。

(8) ～ (12) 省略

引き続き、活発な意見交換が行われた後、議事を終了し、午後3時48分、議長が閉会を宣した。

この議事を明確にするため、議事録を作成し、議長並びに互選された理事2名及び出席した監事が署名する。

令和7年3月25日

議長（理事長） 佐久間 勝彦

理 事 吉田 悦教

理 事 平林 隆

監 事 青柳 俊一

監 事 植松 省自

原本と相違ないことを証明します。

令和7年3月25日

千葉経済学園

理事長 佐久間 勝彦

# 別添 7

## 千葉経済大学短期大学部学則の一部改正について（案）

新（改正後）	旧（改正前）																		
<p>(略)</p> <p>(学科および学生定員)</p> <p>第3条 本学に設置する学科および学生定員は、次のとおりとする。</p> <table data-bbox="220 555 735 667"> <thead> <tr> <th>学 科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビジネスライフ学科</td> <td><u>115名</u></td> <td><u>230名</u></td> </tr> <tr> <td>こども学科</td> <td><u>115名</u></td> <td><u>230名</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p> <p><u>附 則（令和7年3月25日改正）</u></p> <p><u>1 この学則は、令和7年4月1日から施行する。ただし、改正後の第3条は令和8年度から適用する。</u></p> <p><u>2 令和8年度ビジネスライフ学科の収容定員については、改正後の第3条中、「230名」を「255名」、こども学科の収容定員については、改正後の第3条中、「230名」を「285名」に読み替えて適用する。</u></p> <p><u>3 改正後の別表（1）ならびに別表（2）にかかわらず、令和6年度以前の入学生については、なお従前の学則による。</u></p>	学 科	入学定員	収容定員	ビジネスライフ学科	<u>115名</u>	<u>230名</u>	こども学科	<u>115名</u>	<u>230名</u>	<p>(略)</p> <p>(学科および学生定員)</p> <p>第3条 本学に設置する学科および学生定員は、次のとおりとする。</p> <table data-bbox="834 555 1350 667"> <thead> <tr> <th>学 科</th> <th>入学定員</th> <th>収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビジネスライフ学科</td> <td><u>140名</u></td> <td><u>280名</u></td> </tr> <tr> <td>こども学科</td> <td><u>170名</u></td> <td><u>340名</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(略)</p>	学 科	入学定員	収容定員	ビジネスライフ学科	<u>140名</u>	<u>280名</u>	こども学科	<u>170名</u>	<u>340名</u>
学 科	入学定員	収容定員																	
ビジネスライフ学科	<u>115名</u>	<u>230名</u>																	
こども学科	<u>115名</u>	<u>230名</u>																	
学 科	入学定員	収容定員																	
ビジネスライフ学科	<u>140名</u>	<u>280名</u>																	
こども学科	<u>170名</u>	<u>340名</u>																	

千葉経済大学短期大学部学則の一部改正新旧対照表

新						旧							
別表(1) ビジネスライフ学科						別表(1) ビジネスライフ学科							
区分	授業科目	必修	選択	形態	備考	区分	授業科目	必修	選択	形態	備考		
(略)						(略)							
ベース	(略)					ベース	(略)						
	生活と地域の多様性		2	講義			生活と地域の多様性		2	講義			
	キャンパス心理学		2	講義			キャンパス心理学		2	講義			
	自然科学への招待A		2	講義			自然科学への招待A		2	講義			
	(略)						(略)						
	スポーツ演習II		2	講義			スポーツ演習II		2	講義			
	スクーバダイビング		1	実技			スクーバダイビング		1	実技			
(略)						(略)							
キャリアアップ	(略)					キャリアアップ	(略)						
	秘書学II		2	講義			秘書学II		2	講義			
	歴史からみる人間の経済A		2	講義			歴史からみる人間の経済I		2	講義			
	歴史からみる人間の経済B		2	講義			歴史からみる人間の経済II		2	講義			
	ニュースで学ぶ現代経済A		2	講義			ニュースで学ぶ現代経済A		2	講義			
(略)						(略)							
(略)						(略)							
別表(2) こども学科						別表(2) こども学科							
区分	授業科目	必修	選択	形態	備考	区分	授業科目	必修	選択	形態	備考		
(略)						(略)							
専門 教育 科目	総合科目	(略)					専門 教育 科目	総合科目	(略)				
		ベビーシッターの実務と理論		2	講義				ベビーシッターの実務と理論		2	講義	
		小学校フィールド演習		1	演習				小学校フィールド演習		1	演習	
	保育の本質・目的に関する科目	保育原理		2	講義			保育の本質・目的に関する科目	保育原理		2	講義	
		(略)							(略)				
	関 ビ ジ ス ジ る ネ ス 目 に	(略)						関 ビ ジ ス ジ る ネ ス 目 に	(略)				
		ドイツおもちゃ文化論		2	講義	キッズビジネスコースのみ必修			ドイツおもちゃ文化論		2	講義	キッズビジネスコースのみ必修
		キッズビジネス実務体験		1	実習				キッズビジネス・インターンシップ		1	実習	
		キャリアデザインI		2	講義	キッズビジネスコースのみ必修			キャリアデザインI		2	講義	キッズビジネスコースのみ必修
	(略)							(略)					
(略)						(略)							